

令和5年度 シラバス

保育科2年

保育科2年

令和4年度入学生 開講科目表

柴田学園大学短期大学部

整理 番号	系列	科目 番号	科 目 名	単 位	授 業 形 態	担 当 者	卒 業 必 修	幼 稚 園 必 修	保 育 士 必 修	ベ ビー シ ャ ター 必 修	開 講 時 期 ・ 時 間				備 考	
											1 年		2 年			
											前	後	前	後		
1	02外国	2133	英 語 (2)	2	演習											開講せず
2	02外国	2134	コミュニケーションの外国語(1)	1	演習	ウォータース雅代								2		
3	02外国	2135	コミュニケーションの外国語(2)	1	演習	ウォータース雅代									2	
4	04専門	2207	運 動 あ そ び (3)	1	演習	今 和香子			※	※				2		
5	04専門	2210	特 別 支 援 教 育	2	演習	奈 良 理 央	○	○	○	○				2		
6	04専門	2211	人 間 関 係 の 指 導 法	1	演習	佐々木 美子	○	○	○	○					2	
7	04専門	2212	環 境 の 指 導 法	1	演習	蝦 名 敦 子	○	○	○	○				2		
8	04専門	2213	言 葉 の 指 導 法	1	演習	佐々木 典彰	○	○	○	○				2		
9	04専門	2222	子 ども の 食 と 栄 養 (1)	1	演習	岡 本 由 美 子	○		○	○				2		
10	04専門	2223	子 ども の 食 と 栄 養 (2)	1	演習	岡 本 由 美 子	○		○	○					2	
11	04専門	2225	健 康	2	演習	今 和香子	○		※	※				2		
12	04専門	2226	幼 児 理 解 と 援 助	1	演習	佐々木 典彰		○	○	○					2	
13	04専門	2227	教 育 相 談 と 支 援	2	講義	佐々木 典彰		○	○	○				2		
14	04専門	2228	保 育 内 容 指 導 法	1	演習	島 内 智 秋		○	○	○					2	
15	04専門	2229	健 康 の 指 導 法	1	演習	今 和香子		○	○	○					2	
16	04専門	2230	表 現 の 指 導 法	1	演習	金 山 茉莉花		○	○	○				2		
17	04専門	2231	教 職 実 践 演 習 (幼)	2	演習	江 莉 川 淳 子		○	○	○					2	
18	04専門	2232	教 育 制 度 ・ 課 程 論	2	講義	桐 村 豪 文		○	※	※					2	
19	04専門	2233	国 語 科 概 論	2	講義	笹 森 雅 子		○							2	
20	04専門	2234	教 育 方 法 ・ 技 術	1	演習	佐 藤 ゆ かり		○						2		
21	04専門	2237	教 育 実 習	4	実習	教職課程委員会		○			集中	集中				
22	04専門	2238	教 育 実 習 事 前 事 後 指 導	1	演習	島 内 ・ 佐 々 木		○					1	1		2年:事前3回事後1回 90分で実施
23	04専門	2247	子 ども と 造 形 (1)	1	演習	岩 井 康 頼			※	※				2		
24	04専門	2248	子 ども と 造 形 (2)	1	演習	岩 井 康 頼			※	※					2	
25	04専門	2249	子 ども 家 庭 支 援 論	2	講義	安 川 由 貴 子			○	○				2		
26	04専門	2250	子 ども の 健 康 と 安 全	1	演習	佐々木 美子			○	○				2		
27	04専門	2251	社 会 的 養 護 (2)	1	演習	佐 藤 優 輝			○	○				2		
28	04専門	2252	子 育 て 支 援	1	演習	江 莉 川 淳 子			○	○				2		
29	04専門	2253	保 育 実 習 (2)	2	実習	保育士課程委員会			○	○			集中			
30	04専門	2254	保 育 実 習 指 導 (2)	1	演習	佐々木 美子			○	○				2		
31	04専門	2255	ピ ア ノ 表 現 (1)	1	演習	工 藤 ・ 金 山			※	※				2		
32	04専門	2256	ピ ア ノ 表 現 (2)	1	演習	工 藤 ・ 金 山			※	※					2	
33	04専門	2257	図 画 工 作 表 現 (1)	1	演習	蝦 名 敦 子			※	※				2		
34	04専門	2258	図 画 工 作 表 現 (2)	1	演習	蝦 名 敦 子			※	※					2	
35	04専門	2259	在 宅 保 育	2	講義	江 莉 川 淳 子				○				2		
36	04専門	2260	子 ども の 文 化 と 遊 び	2	演習	オムニバス		○						2		2科目から必ず2単位以上 の取得 →ミュージカル
37	04専門	2261	子 ども の た め の 総 合 演 習	2	演習	江 莉 川 淳 子							2			
38	04専門		運 動 あ そ び (4)	2	演習	今 和香子								2		

[注] ※:免許・資格を取得するための選択必修科目(※印の科目の中から卒業までに6単位以上取得する必要がある)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K13002		コミュニケーションの外国語(1)		1	15	演習	30	前期	2年	ウォータース 雅代			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター	
	○			△	△	△	△	△	△				
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○	
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)						○	
						2. 技能を確実に習得(技能習得)						○	
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						○	
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)						○	
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						○	
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						○	
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)						○	
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)						○	
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						○	
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						○	
11. 計画を確実に実行する力(実行力)						○							
	保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○	
		②子どもの心身の特性を知っている										-	
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○	
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										-	
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○	
授業概要		ペアワークやグループワークを取り入れた演習を通じてオフィスでのやり取り、顧客とも電話の対応、海外からのゲストへの対応など様々な場面でのモデル会話を理解し、英語の4技能(聴く、話す、読む、書く)を習得する事で、より良い英語でのコミュニケーションの仕方を学ぶ。											
授業の到達目標		社会人として職場での様々な出会い、取引、交渉などの中で日常使用する語句とビジネスで使用する表現を理解し、よりうまく英語でのコミュニケーションをしていく方法を身につける。											
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	20 %	授業内活動	20 %					計	100 %
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%						
フィードバックの方法		授業内小テストは採点后返却											
教科書・教材		"Business Encounters-すぐ使えるビジネス英語" ISBN 978-4-523-17715-9 NAN' UN-DO											
参考書・参考文献等		自宅学習では中学・高校で使用した参考書、または中高生向けの英語復習サイトなどを活用すること。											
履修上の注意等		教科書音声ストーリーミングサービスを利用した音読練習、内容把握、練習問題などの予習復習を行う事。英和辞書(電子辞書等)を持参。積極的に挙手発言しましょう。											
回		授業時間外学習											
		授業前・時間					授業後・時間						
1	オリエンテーション・授業の流れ。発音練習に備えて手鏡を持参のこと。	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する(30分以上)					授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章と共に書いて覚える(30分以上)						
2	Unit 1 Welcome to the office *Meet your co-workers	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する(30分以上)					授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)						
3	Unit 1 Welcome to the office *Talk about your job and yourself	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する(30分以上)					授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)						

4	Unit 2 What time do you close? * Answer the telephone at work	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
5	Unit 2 What time do you close? * Ask about customer needs +answer customer questions	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
6	Unit 3 I'd like to change an order * Make telephone calls to companies abroad	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
7	Unit 3 I'd like to change an order *Talk about invoices and orders + Request changes to orders	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
8	Unit 4 May I take a message? * Receive telephone calls at the office	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
9	Unit 4 May I take a message? *take messages +Summarize and confirm messages	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
10	Unit 5 Shall I ring that up for you? *Assist retail customers	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
11	Unit 5 Shall I ring that up for you? *Ask for the sale + Take payments	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
12	Unit 6 This way, please *Direct clients visiting your office	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
13	Unit 6 This way, please *Small talk with customers + Offer refreshments	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
14	Unit 7 I'd like to make a complaint *Understand customer complaints	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
15	Self introduction and Review quiz	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
K13002		コミュニケーションの外国語(2)		1	15	演習	30	後期	2年	ウォータース 雅代			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター	
	○			△	△	△	△	△	△				
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○	
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)						○	
						2. 技能を確実に習得(技能習得)						○	
						3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						○	
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				4. 状況を総合的に判断する(判断力)						○	
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						○	
						6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						○	
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)						○	
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)						○	
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						○	
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						○	
				11. 計画を確実に実行する力(実行力)						○			
保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○		
	②子どもの心身の特性を知っている										-		
	③子どもにとって望ましい環境を理解している										○		
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										-		
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○		
授業概要		ペアワークやグループワークを取り入れた演習を通じてオフィスでのやり取り、顧客とも電話の対応、海外からのゲストへの対応など様々な場面でのモデル会話を理解し、英語の4技能(聴く、話す、読む、書く)を習得する事で、より良い英語でのコミュニケーションの仕方を学ぶ。											
授業の到達目標		社会人として職場での様々な出会い、取引、交渉などの中で日常使用する語句とビジネスで使用する表現を理解し、よりうまく英語でのコミュニケーションをしていく方法を身に着ける。											
単位認定の方法		期末試験	50%	授業内小テスト	20%	授業内活動	20%	計				100%	
		期末レポート	%	授業内提出物	10%	その他	%						
フィードバックの方法		授業内小テストは採点后返却											
教科書・教材		"Business Encounters-すぐ使えるビジネス英語" ISBN 978-4-523-17715-9 NAN' UN-DO											
参考書・参考文献等		自宅学習では中学・高校で使用した参考書、または中高生向けの英語復習サイトなどを活用すること											
履修上の注意等		教科書音声ストーリーミングサービスを利用した音読練習、内容把握、練習問題などの予習復習を行う事。英和辞書(電子辞書等)を持参。積極的に挙手発言しましょう。											
回	授 業 計 画				授 業 時 間 外 学 習								
					授 業 前 ・ 時 間				授 業 後 ・ 時 間				
	1	Unit 7 I'd like to make a complaint *Apologize and accept responsibility Unit8 Could you fill out this form? *Discover customer needs and goals				教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する(30分以上)				授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)			
		2	Unit 8 Could you fill out this form? *Instruct how to complete forms + Explain purchase details				教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する(30分以上)				授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)		
3			Unit 9 Welcome to Japan * Greet a company guest at the airport + Offer to carry luggage				教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する(30分以上)				授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える(30分以上)		

4	Unit 9 Welcome to Japan *Ask if the guest has any immediate needs Unit 10 What's your background ? *Talk about your current job	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
5	Unit 10 What's your background ? *Talk about your work and education history + Casual talk with a company guest	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
6	Unit 11 Here's your schedule * Establish a morning pick-up time + Explain meeting times and participants	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
7	Unit 11 Here's your schedule *Explain meal times and cuisine Unit 12 I'll see you tomorrow * Ask if the guest has any requests	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
8	Unit12 I'll see you tomorrow *Accept or refuse invitations to dinner + Establish or confirm a morning pick-up time	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
9	Unit 13 Welcome to the presentation *Present a product or service + Tell a compelling story	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
10	Unit 13 Welcome to the presentation * Answer audience questions Unit 14 Would you use this product? *Ask people to give you their opinions	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
11	Unit 14 Would you use this product? *Explain your product or service + Record,take notes,and analyze data	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
12	Unit 15 I think people will love this! *Discuss product ideas and market research + Give recommendations	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
13	Unit 15 I think people will love this! * Reach consensus on a product to develop Unit 16 Our social media strategy *Lead a multi-person meeting	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
14	Unit 16 Our social media strategy *Make suggestions for using social media + Take ownership and set deliverable dates	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
15	Review quiz + A presentation	教科書やプリントを読んで学習範囲について予習する (30分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を開きシャドウイングの練習をする。書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K23032		運動あそび(3)				1	15	演習	30	前期	2年	今 和香子
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビシッター	編入							実務経験
	○	※		※								
身につけるべき力												該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○
	②子どもの心身の特性を知っている											○
	③子どもにとって望ましい環境を理解している											○
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											○
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要		運動遊び(1)(2)での講義内容を基礎として、運動遊びを展開するうえで環境構成に配慮した指導上の留意点や安全管理等について理解を深め、幼児の身体の発育・発達に即した運動遊びの内容と指導法について学習する。										
授業の到達目標		幼児の運動遊びの指導内容・指導法を理解し、指導力を身に付ける。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計		100	%
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%				
フィードバックの方法		<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、授業内活動(動きの習得状況等)について解説する。 ・授業内提出物(模擬保育指導案等)は返却時に解説する。 ・グループワークは、発表時解説する。 										
教科書・教材		「幼児の楽しい運動学習」不昧堂出版										
参考書・参考文献等		必要に応じて資料を配布する。										
履修上の注意等		テキストを参考に各種の運動遊びについて調べ、講義終了後、幼児の指導上の留意点や安全管理等についてをノートにまとめる。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	講義内容を把握し、幼児の運動遊びの内容や効果について学ぶ。					テキストを参考に内容を概観する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
2	馴染みのある伝承遊びを応用させて、遊びの変化を考える。					伝承遊びの遊び方を調べる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
3	さまざまな鬼遊びを体験する。さらに、鬼遊びのルールに変化を加えた方法を学ぶ。					鬼遊びを調べ、変化ルールを考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
4	身近な素材を利用した遊び①新聞紙・ダンボール・布など身近な素材を利用した遊びを体験する。					新聞紙・布を使った遊びを調べ、遊び方を考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
5	身近な素材を利用した遊び②新聞紙・ダンボール・布など身近な素材を利用した遊びを体験する。					ダンボールを使った遊びを調べ、遊び方を考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			

6	マットを使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。	マットを使った遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
7	跳び箱を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。	跳び箱を使った遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
8	鉄棒を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。	鉄棒を使った遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
9	平均台を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。	平均台を使った遊びを調べる。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
10	運動遊びの指導法①指導計画の立案方法を学習する。	運動遊びの活動内容を考える。 ・20分	運動遊びの指導案を作成する。 ・40分
11	運動遊びの指導法②年齢別の運動遊びについての指導案を作成し、指導法を検討する。	運動遊びの指導案を検討する。 ・40分	運動遊びの指導案を修正する。 ・20分
12	運動遊びの指導法③グループごとに活動内容を考え、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。	模擬保育の準備をする。 ・30分	実施した模擬保育について分析し、指導法についてまとめる。 ・30分
13	運動遊びの指導法④グループごとに活動内容を考え、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。	模擬保育の準備をする。 ・30分	実施した模擬保育について分析し、指導法についてまとめる。 ・30分
14	運動遊びの指導法⑤グループごとに活動内容を考え、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。	模擬保育の準備をする。 ・30分	実施した模擬保育について分析し、指導法についてまとめる。 ・30分
15	グループごとに模擬保育の内容を振り返り、改善点などを話し合う。	各グループの模擬保育について改善点をまとめる。 ・30分	授業内容全体を振り返り、要点をまとめる。 ・30分

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K21232		特別支援教育				2	15	講義	30	前期	2年	奈良理央
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							実務経験
○		○	○	○								
身につけるべき力												該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		近年の障害児・者に関わる制度上の動向や学校教育の現状を踏まえ、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育に関する知識・技能や具体的支援方法の習得を中心に授業を進めます。授業の展開にあたっては、多様な見方・考え方に接し、客観的・具体的・効率的な課題解決の方法を知るために、講義だけではなく発表やディスカッション、ディベート等を適宜設定します。										
授業の到達目標		障害を有する子どもの学習上または生活上の困難を理解し、個々の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法の習得を目指します。										
単位認定の方法		期末試験	50	%	授業内小テスト		%	授業内活動	20	%	計 100 %	
		期末レポート		%	授業内提出物	20	%	その他	10	%		
フィードバックの方法		授業内活動及び授業内提出物について、全体への講評を行います。										
教科書・教材		特になし										
参考書・参考文献等		障害児心理入門 [第2版] ミネルヴァ書房、特別支援教育 中山書店										
履修上の注意等		毎週の授業時に課題を配布しますので、次の授業で忘れず提出してください。										
回	授 業 計 画						授 業 時 間 外 学 習					
							授 業 前 ・ 時 間			授 業 後 ・ 時 間		
1	障害の概念とインクルーシブ教育の歴史的経緯						シラバスに目を通して、全体の概要を司会しておくこと。1時間。			授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。		
2	特殊教育から特別支援教育への変遷過程及び特別支援教育に関する制度改正の重要点						前週で紹介した資料にあらかじめ目を通し、予習しておくこと。週あたり1時間。			授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。		
3	障害のある子どもの学びの場と教育・支援内容としての学習指導要領						事前に資料に目を通し、予習しておくこと。週あたり1時間。			授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。		
4	障害のある子どもの教育課程とインクルーシブ教育システムの構築						事前に資料に目を通し、予習しておくこと。週あたり1時間。			授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。		
5	視覚障害、聴覚障害の障害特性の理解と支援						事前に資料に目を通し、予習しておくこと。週あたり1時間。			授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。		

6	肢体不自由及び病弱・身体虚弱、知的障害の障害特性の理解と支援	事前に資料に目を通し、予習しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。
7	LDの障害特性の理解と支援	事前に資料に目を通し、予習しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。
8	ADHDの障害特性の理解と支援	事前に資料に目を通し、予習しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。
9	ASDの障害特性の理解と支援	事前に資料に目を通し、予習しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。
10	貧困家庭や母国語の異なる子どもの困難に対する理解と支援	事前に資料に目を通し、予習しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。
11	通級による指導（並行通園）及び自立活動の概要	事前に資料に目を通し、予習しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。
12	個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成意義と活用	事前に資料に目を通し、予習しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。
13	特別支援教育体制の構築と特別支援教育コーディネーターの役割	事前に資料に目を通し、予習しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。
14	教員の専門性と機関間連携	事前に資料に目を通し、予習しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。
15	保護者との協力関係の構築とコンサルテーション（相談）	事前に資料に目を通し、予習しておくこと。週あたり1時間。	授業後は、理解した事柄を整理し理解を深めてください。2時間程度/週。

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21132		人間関係の指導法				1	15	演習	30	後期	2年	佐々木美子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目												
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							実務経験		
○		○	○	○										
身につけるべき力											該当項目に○			
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○		
		②子どもの心身の特性を知っている										○		
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○		
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている												
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○		
授業概要		幼稚園教育要領及び保育所保育指針の基本理念を踏まえた上で、子どもの人間関係をどのように捉えるのか、指導はどのようにあるべきかについて、日々の保育の中で起こりうる子どもの「人との関わり」に関する具体的な事例を考察する。												
授業の到達目標		実践場面における具体的な例を取り上げ、人間関係における内容や問題点を明らかにしていくことで、保育者としての資質を高めていく。発達に沿って保育者、家族、友達との間に築かれていく人間関係の様子を捉え、保育者としての関わり方を考え学んでいく。												
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	30	%	計		100	%		
		期末レポート	30	%	授業内提出物	30	%	その他	10	%				
フィードバックの方法		課題レポートは添削、授業で解説する。												
教科書・教材		『演習 保育内容 人間関係—基礎的事項の理解と指導法—』 建帛社 保育内容「人間関係」 ミネルヴァ書房												
参考書・参考文献等		必要に応じて資料配布												
履修上の注意等		実際の保育現場でも応用できるように具体的な事例を基に自分の考えをまとめる。 グループワークを通して人間関係を深め、協力し合う姿勢を身に付ける。												
回	授 業 計 画						授業時間外学習							
							授業前・時間			授業後・時間				
1	保育の基本と保育内容「人間関係」 幼稚園教育要領・保育所保育指針における保育の基本						シラバスに目を通す 教科書を読む			30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み)			30分以上
2	乳幼児期における人との関わり① 「0・1・2歳児を中心に」						教科書を読む			30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み)			30分以上
3	乳幼児期における人との関わり② 「3・4・5歳児を中心に」						教科書を読む			30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み)			30分以上
4	遊びの中で育つ人との関わり① —遊びの意義と重要性—						事例を読み、自分の考えをまとめる 教科書を読む			30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み)			30分以上
5	遊びの中で育つ人との関わり② —けんかやいざこざから生まれるもの—						事例を読み、自分の考えをまとめる 教科書を読む			30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み)			30分以上

令和5年度

6	人との関わりを育てる保育の実践① 「人と関わる力が育っていくプロセスとは」	事例を読み、自分の考えをまとめる 教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
7	人との関わりを育てる保育の実践② 「保育の中で気になる子どもの姿」 「人と関われない、関わらない子どもたち」	事例を読み、自分の考えをまとめる 教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
8	人との関わりが難しい子どもへの支援 「園生活に馴染めない子の育ち」 「悩む親を支える」	事例を読み、自分の考えをまとめる 教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
9	保育における個の育ちと集団の育ちについて 「集団の中での役割と責任・道徳性の芽生え」	教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
10	人間関係の育ちを育む環境 ①保育者同士の人間関係「子どもの育ちを考える保育者同士の人間関係」 ②保護者と保育者の人間関係「園と家庭が子どもを育てる」「保護者同士の関係を作る」「子育て支援とは何か」	教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
11	領域の相互の関連性と保育展開① －指導計画の意義・作成－	指導案作成について準備する 30分以上	指導案作成について準備する 30分以上
12	領域の相互の関連性と保育展開② －指導計画の意義・作成－	指導案作成について準備する 30分以上	実践について準備する 30分以上
13	領域の相互の関連性と保育展開③ －指導計画の意義・作成・実践・評価－	実践について準備する 30分以上	実践の振り返りをする 30分以上
14	領域の相互の関連性と保育展開④ －指導計画の意義・作成・実践・評価－	実践について準備する 30分以上	実践の振り返りをする 30分以上
15	まとめ 「演習の振り返りとその先の課題」「よい人間関係を築くために」	教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K21132		環境の指導法				1	15	演習	30	前期	2年	蝦名敦子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								
○		○	○	○									
身につけるべき力												該当項目に○	
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○	
		②子どもの心身の特性を知っている										○	
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○	
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○	
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要		子どもは自ら環境に働きかけるとともに、環境から働きかけられ、影響を受けながら成長する。乳幼児期の子どもたちに必要な環境とは、どのようなものなのか。保育者として子どもたちの育ちを支える環境を通しての援助について、中庭整備などの演習を通し、適切な指導法を学習する。											
授業の到達目標		○幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、環境の領域のねらい及び内容を理解する。 ○幼児の発達や学びの過程を理解し、庭の整備などの実践を通して具体的な指導場面を想定しながら、保育を構想する方法を身に付ける。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計			100	%
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%					
フィードバックの方法		授業内活動については、発表の時間を設けて交流を図り、解説する。授業内提出物については、その結果を明らかにし、次の授業に反映させる。											
教科書・教材		幼稚園教育要領（平成29年3月31日告示 文部科学省）、保育所保育指針（平成29年3月31日告示 厚生労働省）、幼保連携型認定こども園・保育要領（平成29年3月31日告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省）											
参考書・参考文献等		授業中に必要に応じて資料プリントを配布する。											
履修上の注意等		提出物は期日を守る											
回	授 業 計 画							授業時間外学習					
								授業前・時間			授業後・時間		
1	オリエンテーション 幼稚園教育の基本、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」、領域「環境」の位置づけ。							事前に幼稚園教育要領に目を通す。30分。			学習内容を整理する。30分以上。		
2	幼稚園教育要領及び保育所保育指針における「環境」のねらい、内容の取扱い、幼児の発達過程、評価、小学校の教科等とのつながりについて							幼稚園教育要領の領域「環境」に関する部分に目を通す。30分。			学習内容を整理する。30分以上。		
3	地域に関わる活動 生活に関係の深い情報や施設、様々な文化や伝統に親しむ。①-1（どのような文化や伝統などがあるのか、グループごとに意見交換をし、発表、ワークシートの提出）（グループ活動）							地域社会における様々な文化や伝統に関する資料の準備。30分。			学習内容の整理。30分。		
4	地域に関わる活動 生活に関係の深い情報や施設、様々な文化や伝統に親しむ。①-2（実際に保育に取り入れることを想定し、保育の指導法について検討する。グループごとに意見を集約し、指導計画を作成し、発表する。指導計画の提出）（グループ活動）							発表の準備。30分。			学習内容の整理。30分。		
5	子どもと環境の関わり②-1 身近な環境の捉え方（本校の中庭などの自然観察や整備を通して）「土に親しむ」（グループ活動）、指導法について							活動ができるように服装や用具について準備。10分。			保育の指導法について整理。30分。		

6	子どもと環境の関わり②-2 身近な環境の捉え方（本校の中庭などの自然観察や整備を通して）「植物との関わりについて」「植物の名札の設置」（文字、標識に触れる活動を含む）（グループ活動）	庭の植物などの名前を調べる。30分。	保育の指導法について整理。30分。
7	子どもと環境の関わり②-3 身近な環境の捉え方（本校の中庭などを自然観察や整備を通して）「生き物との関わりについて」（グループ活動）	昆虫や生き物に関する資料収集。30分。	保育の指導法について整理。30分。
8	好奇心、興味、関心を育てる環境についてー自然、文字、図形、数量、標識、国旗への子どもの興味、関心を引き出す遊びの考案、教材づくり	環境の指導内容について幼稚園教育を読み全体の内容を再度確認する。30分。	学習内容の整理。30分。
9	環境をつくる「中庭をリメイク！」③-1 幼児のための園庭、環境を想定して、実際にその環境をイメージする。（グループ活動）（場所、空間、遊具、設備の安全上の配慮）	幼稚園の園庭などの環境について考える。30分。	途中経過の振り返り。30分。
10	環境をつくる「中庭をリメイク！」③-2 幼児のための園庭、環境を想定して、実際にその環境を作る。（グループ活動）発想・構想	材料・用具の準備。10分。	途中経過の振り返り。30分。
11	環境をつくる「中庭をリメイク！」③-3 幼児のための園庭、環境を想定して、実際にその環境を模型で製作する。（グループ活動）	材料・用具の準備。10分。	途中経過の振り返り。30分。
12	環境をつくる「中庭をリメイク！」③-4 完成した模型を鑑賞し、保育の観点からコンセプトを発表し合う。動画作成。（グループ活動）	鑑賞の準備。10分。	学習内容の整理。30分以上。
13	指導案について構成を理解し、これまでの活動から身近な素材や自然物を用いた具体的な保育を想定した指導案を作成する。	指導案の準備。30分。	指導案の振り返りと学習内容の整理。30分。
14	模擬保育とその振り返りを通して、保育の改善について検討する。	模擬保育の準備。30分。	指導案の振り返りと学習内容の整理。30分以上。
15	環境の特性に応じた保育実践の動向：環境に関わる現代的問題 インクルーシブ保育（障害のある幼児、外国籍の幼児への配慮）、「DVDを活用した情報共有」、総括	環境の問題に関わる情報を収集し準備。30分以上。	学習内容の整理。30分。

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K21132		言葉の指導法				1	15	演習	30	前期	2年	佐々木典彰		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験		
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入									
○		○	○	○										
身につけるべき力												該当項目に○		
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける												
		②子どもの心身の特性を知っている												
		③子どもにとって望ましい環境を理解している												
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○		
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○		
授業概要		領域「言葉」に関する実践力の向上を図るため、絵本の読み聞かせ（個人）や模擬保育（5名グループ）を行う。												
授業の到達目標		絵本、紙芝居、言葉遊び等、具体的な保育教材を用いて保育を構想する実践力を身につける。												
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	48	%	授業内活動	52	%	計			100	%
		期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	%							
フィードバックの方法		授業内活動（模擬保育）：授業内にその振り返りと解説をする。 授業内小テスト：成績不良者に個別指導を行う。												
教科書・教材		なし。随時プリント等を用いる。												
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針（平成29年3月告示）												
履修上の注意等		授業内小テストは各自のスマートフォンで行います。												
回	授 業 計 画						授業時間外学習							
							授業前・時間			授業後・時間				
1	子どもにとって「言葉」とは何か						左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上				
2	領域「言葉」の変遷						左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上				
3	領域「言葉」のねらい・内容・内容の取扱い						左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上				
4	言葉の発達を促す（話し言葉を中心に）※情報機器の活用を含む						左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上				
5	言葉の発達を促す（書き言葉を中心に）						左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上				

6	言葉による自己表現を促す	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
7	人の話を聞く力を育む	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
8	幼児教育から小学校教育へつなげる（幼小接続）	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
9	模擬保育の指導案作成（個人）	模擬保育の内容を構想する・30分以上	模擬保育の内容を発展させる・30分以上
10	模擬保育の指導案作成（グループ）	模擬保育のシミュレーションをする・30分以上	模擬保育の準備をする・30分以上
11	模擬保育（3つの班が実施）	実施される模擬保育の指導案を読む・30分以上	実施された模擬保育の振り返りを行う・30分以上
12	模擬保育（3つの班が実施）	実施される模擬保育の指導案を読む・30分以上	実施された模擬保育の振り返りを行う・30分以上
13	模擬保育（2つの班が実施）	実施される模擬保育の指導案を読む・30分以上	実施された模擬保育の振り返りを行う・30分以上
14	模擬保育の振り返り	模擬保育のコメント一覧をみる・30分以上	授業内容を復習し、不明な点はチームズから質問する・30分以上
15	振り返りとまとめ	授業の到達目標を達成できたかを自己評価する・30分以上	授業内容を復習し、不明な点はチームズから質問する・30分以上

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K21022		子どもの食と栄養(1)				1	15	演習	30	前期	2年	岡本由美子
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							実務経験
○		○		○								
身につけるべき力											該当項目に○	
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		発育、発達が目覚ましい時期の子どもの食生活や栄養の特性について学ぶ。食の大切さを伝えられるよう食育の基本を習得する。										
授業の到達目標		① 成長・発達期にある子どもについて理解できる ② 乳・幼・学童期の栄養と食生活の特徴を理解できる ③ 食育について理解し実践できる ④ 疾病および体調不良の子どもについての基礎知識を理解できる ⑤ 児童福祉施設の給食の役割を理解できる										
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	%	授業内活動	20 %					計 100 %
		期末レポート	%	授業内提出物	30 %	その他	%					
フィードバックの方法		グループ活動の場合は、発表や意見交換をする。わからないところはその都度回答する。										
教科書・教材		子どもの食と栄養 第2版 保育現場で活かせる食の基本 : 羊土社										
参考書・参考文献等		子育て・子育てを支援する 子どもの食と栄養 : 萌文書林										
履修上の注意等		演習は調理実習も含む。その場合、エプロンまたは割烹着、ハンドタオル、名札を用意し、衛生に配慮して行う。(ピアス、指輪、時計等は外す。爪は短く切り、マニキュア等は落とすこと)										
回	授 業 計 画						授業時間外学習					
							授業前・時間			授業後・時間		
1	オリエンテーション (事前アンケート・力試し)						シラバスを読む			授業の要点をまとめる (30分以上)		
2	1. 子どもの健康と食生活の意義						教科書を読む (30分以上)			授業の要点をまとめる (30分以上)		
3	2. 栄養に関する基礎知識 栄養とは何か、栄養素の消化・吸収						教科書を読む (30分以上)			授業の要点をまとめる (30分以上)		
4	2. 栄養に関する基礎知識 栄養素の種類と働き①						教科書を読む (30分以上)			授業の要点をまとめる (30分以上)		
5	2. 栄養に関する基礎知識 栄養素の種類と働き②						教科書を読む (30分以上)			授業の要点をまとめる (30分以上)		

6	3. 栄養に関する制度 日本人の食事摂取基準	教科書を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
7	3. 栄養に関する制度 献立作成・調理の基本①	教科書を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
8	3. 栄養に関する制度 献立作成・調理の基本②	教科書、特に食中毒、衛生管理 について読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
9	4. 妊娠期と授乳期の食生活 妊娠前の食生活	教科書を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
10	4. 妊娠期と授乳期の食生活 妊娠期・授乳期の食生活	教科書を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
11	5. 乳児期の食生活 授乳・離乳の意義	教科書を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
12	5. 乳児期の食生活 【調理実習】調乳・ベビーフード	教科書、参考資料を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
13	6. 幼児期の発育・発達と食生活 幼児期の心身の発達と食生活、栄養の問題点	教科書を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
14	6. 幼児期の発育・発達と食生活 【調理実習】幼児食	教科書、参考資料を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
15	6. 幼児期の発育・発達と食生活 【調理実習】幼児食	教科書、参考資料を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K21022		子どもの食と栄養(2)		1	15	演習	30	後期	2年	岡本由美子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
○		○		○							
身につけるべき力											該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									○
授業概要		<p>発育、発達が目覚ましい時期の子どもの食生活や栄養の特性について学ぶ。食の大切さを伝えられるよう食育の基本を習得する。</p>									
授業の到達目標		<p>① 成長・発達期にある子どもについて理解できる ② 乳・幼・学童期の栄養と食生活の特徴を理解できる ③ 食育について理解し実践できる ④ 疾病および体調不良の子どもについての基礎知識を理解できる ⑤ 児童福祉施設の給食の役割を理解できる</p>									
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	%	授業内活動	20 %			計	100 %
		期末レポート	%	授業内提出物	30 %	その他	%				
フィードバックの方法		グループ活動の場合は、発表や意見交換をする。わからないところはその都度回答する。									
教科書・教材		子どもの食と栄養 第2版 保育現場で活かせる食の基本 : 羊土社									
参考書・参考文献等		子育て・子育てを支援する 子どもの食と栄養 : 萌文書林									
履修上の注意等		演習は調理実習も含む。その場合、エプロンまたは割烹着、ハンドタオル、名札を用意し、衛生に配慮して行う。(ピアス、指輪、時計等は外す。爪は短く切り、マニキュア等は落としてくること)									
回	授 業 計 画				授業時間外学習						
					授業前・時間			授業後・時間			
1	7. 学童期・思春期の発育・発達と食生活 心身の発達と食生活、栄養の問題点				教科書を読む (30分以上)			授業の要点をまとめる (30分以上)			
2	7. 学童期・思春期の発育・発達と食生活 学校給食と栄養教育				教科書を読む (30分以上)			授業の要点をまとめる (30分以上)			
3	8. 生涯発達と食生活 成人期の課題と対策				教科書を読む (30分以上)			授業の要点をまとめる (30分以上)			
4	9. 食育の基本と内容 食育の基本				教科書を読む (30分以上)			授業の要点をまとめる (30分以上)			
5	9. 食育の基本と内容 食育の基本				教科書を読む (30分以上)			授業の要点をまとめる (30分以上)			

6	9. 食育の基本と内容 食育の内容と計画および評価	教科書を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
7	9. 食育の基本と内容 食育の内容と計画および評価	教科書を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
8	9. 食育の基本と内容 食育の内容と計画および評価	教科書を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
9	9. 食育の基本と内容 【調理実習】収穫祭	関連資料を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
10	9. 食育の基本と内容 【調理実習】収穫祭	関連資料を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
11	10. 家庭や児童福祉施設における食事と栄養 児童福祉施設における食事と栄養	教科書を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
12	10. 家庭や児童福祉施設における食事と栄養 家庭への給食情報の提供 (給食だより)	教科書を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
13	11. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養	教科書を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
14	12. アレルギー疾患をもつ子どもの食と栄養 食物アレルギーの基礎知識	教科書を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)
15	12. アレルギー疾患をもつ子どもの食と栄養 保育所での食物アレルギー対応	教科書を読む (30分以上)	授業の要点をまとめる (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K21032		健康		2	15	演習	30	前期	2年	今 和香子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
○		※		※							
身につけるべき力											該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									○
授業概要		幼児期が生涯にわたる健康の基礎ができる重要な時期であることから、領域「健康」のねらい・内容・指導の基本を理解し、心身の健康に関する内容、運動的活動に関する内容、健康な生活習慣に関する内容を具体的に学習する。									
授業の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・領域「健康」のねらい・内容を理解する。 ・乳幼児の心身の発達に即した健康な身体づくり、生活習慣を身に付けるための援助、安全指導のあり方の学習を通して、子どもの発達に適した援助のための知識や技術を身に付ける。 									
単位認定の方法		期末試験	80 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計		100 %	
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%				
フィードバックの方法		・授業内提出物は返却時に解説する。									
教科書・教材		なし									
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領。講義ごとに必要な資料を配布する。									
履修上の注意等		日常的に、子どもに関するニュースや新聞記事に関心をもち、今日の問題を把握しておく。									
回	授 業 計 画					授業時間外学習					
						授業前・時間			授業後・時間		
1	領域「健康」の講義内容を把握する。『健康』について考える。					「健康」についての自分なりの概念をまとめておく。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分		
2	乳幼児期の健康の特徴を知る。					自分の過去の経験や身近な乳幼児を想起し、その健康の特徴を自分なりにまとめておく。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分		
3	領域「健康」のねらい・内容・内容の扱いを理解する。					幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領の「健康」に関する部分を一読する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分		
4	幼児期の運動技能や運動能力の発達を学ぶ。					自分の経験や身近な乳幼児の行動から、乳幼児の運動技能や運動能力の特徴を考えておく。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分		
5	乳幼児期の精神状態①知覚・認知の発達について学ぶ。					乳幼児期の知覚・認知の発達についてその特徴を表す例を考えてみる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分		

6	乳幼児期の精神状態②社会性・パーソナリティの発達について学ぶ。	乳幼児期の社会性・パーソナリティの発達についてその特徴を表す例を考えておく・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
7	乳幼児期の体力・運動能力を理解し、運動遊びと関連づけて考える。	講義内容「幼児の運動技能や運動能力の発達」を復習する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
8	遊びの特質と援助の要点について理解する。	いろいろな運動遊びを想起し、自分なりに遊びの特質や援助について考えておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
9	幼児期にふさわしい運動会のあり方を理解する。	自分の経験から運動会の実施種目等を想起し、必要な事項をまとめておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
10	子どもの健康状態の把握や事故発生時の応急処置について理解を深める。	自分の経験から乳幼児の健康状態を把握する方法や応急処置の仕方を想起しまとめておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
11	園外保育の意義や園外保育で育つ心身の健康について理解する。	園外保育の意義や育つ心身の健康について、自分の意見をまとめておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
12	基本的生活習慣の形成と過程①食事について学ぶ。	乳幼児期の健康の特徴について復習し、食事との関係を自分なりに考えておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
13	基本的生活習慣の形成と過程②午睡・排泄について学ぶ。	乳幼児期の健康の特徴について復習し、午睡・排泄との関係を自分なりに考えておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
14	基本的生活習慣の形成と過程③衣服の着脱・清潔に関することについて学ぶ。	乳幼児期の健康の特徴について復習し、衣服の着脱・清潔との関係を自分なりに考えておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
15	これまでの講義内容を振り返る。	講義全体を通しての疑問点をまとめておく。 ・30分	ノートの内容を整理し、講義内容を復習する。 ・30分

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22322		幼児理解と援助				1	15	演習	30	後期	2年	佐々木典彰	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								実務経験
	○	○	○	○									
身につけるべき力												該当項目に○	
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											
		②子どもの心身の特性を知っている											○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している											○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											○
授業概要		保育現場でみられる気になる子のさまざまな事例を取り上げ、その心理と保育者の対応例を考える。											
授業の到達目標		幼児のさまざまな姿から、その心理と保育者の対応例を、心理学も活用しながら自分なりに考え出すことができる。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	42	%	授業内活動	%	計 100 %				
		期末レポート	58	%	授業内提出物	%	その他	%					
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。											
教科書・教材		なし。随時プリント等を用いる。											
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針（平成29年3月告示） 「心の保育を考える case 67」ラボム編集部 編、学研											
履修上の注意等		授業内小テストは各自のスマートフォンで行います。											
回	授 業 計 画							授 業 時 間 外 学 習					
								授 業 前 ・ 時 間			授 業 後 ・ 時 間		
1	「幼児理解」とはどういうことか							左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上		
2	幼児理解に関する心理学の理論・概念							左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上		
3	保育者に求められる基本的な姿勢							左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上		
4	幼児の観察・記録について							左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上		
5	集団を乱す子に関する事例							左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上		

令和5年度

6	集団に入れない・入らない子に関する事例	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
7	行事や活動を嫌がる子に関する事例	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
8	子ども同士のけんかに関する事例	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
9	言葉の少ない子に関する事例	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
10	発達障害児に関する事例(1) 自閉症児	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
11	発達障害児に関する事例(2) LD児、ADHD児	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
12	親の障害受容について	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
13	ジェンダーや生死に関する事例	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
14	年度初めの気になる子に関する事例	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	授業内容を復習し、不明な点はチームズから質問する・30分以上
15	振り返りとまとめ	授業の到達目標を達成できたかを自己評価する・30分以上	期末レポートに取り組む・30分以上

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22321		教育相談と支援				2	15	講義	30	前期	2年	佐々木典彰	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								
	○	○	○	○									
身につけるべき力												該当項目に○	
ディプロマポリシー (学習成果)	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○	
	②子どもの心身の特性を知っている												
	③子どもにとって望ましい環境を理解している												
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている												
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											○	
授業概要		さまざまな問題行動や悩みについて、人間の本能的欲求やカウンセリングマインドをふまえながら、捉え方や対応方法を学ぶ。											
授業の到達目標		問題行動や悩みに対する考え方や個別対応時の配慮事項を身につける。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	42	%	授業内活動	%	計 100 %				
		期末レポート	58	%	授業内提出物	%	その他	%					
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。											
教科書・教材		なし。随時プリント等を用いる。											
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針（平成29年3月告示）											
履修上の注意等		授業内小テストは各自のスマートフォンで行います。											
回	授 業 計 画						授業時間外学習						
							授業前・時間			授業後・時間			
1	「教育相談」とは何か						左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上			
2	教育相談に関する心理学の理論・概念						左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上			
3	現代における子どもの心理的状況						左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上			
4	現代における大人の心理的状況						左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上			
5	良好な人間関係を築くために求められること						左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			復習し、不明な点は質問する・30分以上			

6	カウンセリングマインド①	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
7	カウンセリングマインド②	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
8	カウンセリングマインド③	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
9	問題行動への対応	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
10	人間の本能的欲求	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
11	構成的グループエンカウンター	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
12	ソーシャルスキルトレーニング、アサーション、レジリエンス	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
13	問題行動の具体例（虐待、キレる等）	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
14	問題行動の具体例（学級崩壊等）	左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上	復習し、不明な点は質問する・30分以上
15	振り返りとまとめ	授業の到達目標を達成できたかを自己評価する・30分以上	期末レポートに取り組む・30分以上

令和5年度

ナンバリング		科目名			単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K22132		保育内容指導法			1	15	演習	30	後期	2年	島内智秋
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター							実務経験
	○	○	○	○							
身につけるべき力											該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									○
授業概要		保育全体の構造を学び、バランスのとれた保育内容が子どもの健やかな成長に繋がることを理解し、子どものためのよりよい指導方法を考える。幼稚園教育要領・保育所保育指針の保育内容をよく理解し、子どもの主体性を育む保育と保育者の関わりの関係性を学ぶ。									
授業の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・保育の全体構造の理解に基づいて「養護」と「教育」を総合的に捉える。 ・実習の経験をもとに話し合い、子ども理解や保育の計画や方法について理解する。 									
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	%	授業内活動	10 %	計 100 %			
フィードバックの方法		振り返りシートに質問・疑問を記入し提出させ、次の股間に解説する。									
教科書・教材		「保育方法・指導法」大豆生田啓友・渡辺英則・森上志朗 編 ミネルヴァ書房 「幼稚園教育要領解説書」文部科学省（(言葉（1）で使用したもの） 「保育所保育指針」厚生労働省（保育原理（1）で使用したもの）									
参考書・参考文献等		「幼児教育指導法—保育における援助の方法—」阿部明子・中田カヨ子編著 「保育のプロセスの質」評価スケール イラム・シラージ+デニス・キングストン+エドワード・メルウイッシュ 著 明石書店 ほか									
履修上の注意等		子どもにとって、より良い具体的な指導方法を考え、現場での実践へ備えること。									
回	授 業 計 画					授業時間外学習					
						授業前・時間			授業後・時間		
1	オリエンテーション 幼稚園・保育所・認定こども園の教育・保育の基本 保育内容と保育方法を理解する					1章を事前に一読しておくこと（30分以上）			復習（30分以上）		
2	見える援助と見えない援助・保育における観察と記録 指導方法と教育効果の関連性 乳幼児期の発達と幼稚園教育・保育の方法的特質					子どもに適した援助について考える（30分以上）			講義後、レポートを提出すること 復習（30分以上）		
3	教育・保育の基盤となる子ども理解 発達の違いに合わせた指導方法と援助方法					2章を事前に一読しておくこと（30分以上）			復習（30分以上）		
4	幼児期のふさわしい生活の展開 主体性を育む保育について 領域「健康」について					6章と保育所保育指針解説書（以下解説書）領域「健康」について事前に一読しておくこと（30分以上）			復習（30分以上）		
5	環境を通しての教育①環境を通しての学び 領域「環境」について					3章と解説書領域「環境」について事前に一読しておくこと（30分以上）			復習（30分以上）		

6	環境を通しての教育② 環境構成の実際 遊びの展開に応じた環境の再構成	子どもの周りの環境構成を考える (30分以上)	講義後、レポートを提出すること 復習 (30分以上)
7	遊びを通しての指導① 乳幼児期の発達と遊び 領域「人間関係」について[5歳児のヒミツ] DVD	4章と解説書領域「人間関係」について事前の一読しておくこと (30分以上)	復習 (30分以上)
8	遊びを通しての指導② 乳幼児期の遊びの生成と展開 領域「言葉」について	遊びについて考え、解説書領域「言葉」について一読しておくこと (30分以上)	講義後、レポートを提出すること 復習 (30分以上)
9	遊びを通しての指導③ 乳幼児期の遊びに対する援助 領域「表現」について	遊びの援助について考え、解説書領域「表現」について一読しておくこと (30分以上)	講義後、レポートを提出すること 復習 (30分以上)
10	保育における個と集団の関係	5章を事前の一読しておくこと (30分以上)	復習 (30分以上)
11	発達の時期に応じた指導・援助のあり方	7章・8章を一読しておくこと (30分以上)	復習 (30分以上)
12	保育の計画の実際 (教育課程・長期計画・短期計画)	9章を一読しておくこと 指導案を提出する準備 (30分以上)	復習 (30分以上)
13	行事を生かした保育の展開	前の時間に指定された行事の子どもにとっての意味を考える (30分以上)	講義後、レポートを提出すること 復習 (30分以上)
14	乳幼児教育・保育における家庭・地域連携のあり方 お便り帳の書き方	10章・11章を一読しておくこと (30分以上)	復習 (30分以上)
15	保育実践を高める省察・カンファレンス 配慮を要する子どもへの保育内容	12章を一読しておくこと (30分以上)	復習 (30分以上)

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K22132		健康の指導法				1	15	演習	30	後期	2年	今 和香子
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	○	○	○								
身につけるべき力												該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		領域「健康」での学習をもとに、運動に関する指導、健康な生活の関する指導、安全な生活や態度に関する指導、安全な生活や態度に関する指導など保育現場での状況と照らし合わせて内容を深め、適切な指導法を学習する。										
授業の到達目標		心身の健康に関する領域であることを踏まえ、乳幼児の発達に即した援助方法や安全指導のあり方を考慮しながら保育者に必要な知識や技術を身に付ける。										
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	%	授業内活動	40 %					計 100 %
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%					
フィードバックの方法		・グループ活動終了後に解説する。 ・授業内提出物返却時に解説する。										
教科書・教材		なし										
参考書・参考文献等		幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領。講義ごとに必要な資料を配布する。										
履修上の注意等		日常的に、子どもに関するニュースや新聞記事に関心をもち、今日的課題を把握しておく。										
回	授 業 計 画						授業時間外学習					
							授業前・時間			授業後・時間		
1	領域「健康」での学習を振り返りながら、「健康の指導法」の講義内容を把握する。						領域「健康」の講義内容を復習しておく。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分		
2	基本的な生活習慣と過程①（食事）実習全体を振り返り、保育現場の実態を踏まえて、指導上配慮する点等についてグループ別に意見交換をしながら援助方法を理解する。						学外実習での体験を振り返り、グループ発表に備えて内容（食事）をまとめる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分		
3	基本的な生活習慣と過程②（午睡・排泄）実習全体を振り返り、保育現場の実態を踏まえて、指導上配慮する点等についてグループ別に意見交換をしながら援助方法を理解する。						学外実習での体験を振り返り、グループ発表に備えて内容（午睡・排泄）をまとめる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分		
4	基本的な生活習慣と過程③（衣服の着脱・清潔に関すること）実習全体を振り返り、保育現場の実態を踏まえて、指導上配慮する点等についてグループ別に意見交換をしながら援助方法を理解する。						学外実習での体験を振り返り、グループ発表に備えて内容（衣服の着脱・清潔に関すること）をまとめる。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分		
5	運動遊びの指導法①幼児期の運動能力を踏まえた指導計画の立案方法を理解する。						幼児期の運動能力の発達について復習する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分		

6	運動遊びの指導法②運動遊びについての指導案を作成し、指導方法を考える。	保育の指導案作成のポイントを復習する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 活動内容を考える。 ・30分以上
7	5歳児を想定した模擬保育を行い、タブレット端末で行動を動画撮影する。	模擬保育の準備をする。 ・30分以上	講義内容をノートにまとめる。 模擬保育の反省をまとめる。 ・30分以上
8	4歳児を想定した模擬保育を行い、タブレット端末で行動を動画撮影する。	模擬保育の準備をする。 ・30分以上	講義内容をノートにまとめる。 模擬保育の反省をまとめる。 ・30分以上
9	3歳児を想定した模擬保育を行い、タブレット端末で行動を動画撮影する。	模擬保育の準備をする。 ・30分以上	講義内容をノートにまとめる。 模擬保育の反省をまとめる。 ・30分以上
10	7回から9回で撮影した動画やVR/AR教材、スマートフォン・タブレット端末を適宜活用し、日常の運動遊びにおける事故や安全に対する問題点（危険箇所・危険な行為）について子どもに理解させることができるようにする。	保育場面での安全に対する問題点をまとめておく。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 改善点等をまとめる。 ・30分以上
11	10回で認識した問題点をどのように改善するかグループごとに提案する。	改善点について発表できるよう確認する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
12	園庭（園外）での遊び・室内での遊びの特質と援助の要点について理解する。	講義内容を自分なりに調べ、予習する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
13	乳幼児期の安全能力の発達を理解しながら、乳幼児に多い不慮の事故等を例にあげ、安全指導について学ぶ。	講義内容を自分なりに調べ、予習する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
14	乳幼児期の健康指導における保育者の役割を認識する。	講義内容を自分なりに調べ、予習する。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
15	領域「健康」のねらい・内容・内容の取扱いに触れながら、これまでの講義内容を振り返る。	講義内容を通しての疑問点をまとめておく。 ・30分	ノートの内容を整理し、講義内容を復習する。 ・30分

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22132		表現の指導法				1	15	演習	30	前期	2年	金山茉莉花	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								実務経験
	○	○	○	○									○
身につけるべき力												該当項目に○	
ディプロマポリシー (学習成果)	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける												○
	②子どもの心身の特性を知っている												○
	③子どもにとって望ましい環境を理解している												○
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている												○
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる												—
授業概要		<ul style="list-style-type: none"> 様々な方法を用いた表現活動を体験しながら、子どもの豊かな表現を引き出す方法を理解する。 他者との関わり合いの中での発見を大切にしながら、適切な指導法を学習する。 											
授業の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> 三法令(幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領)における領域「表現」の内容を理解する。 具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。 											
単位認定の方法		期末試験	— %	授業内小テスト	— %	授業内活動	50 %	計		100 %			
		期末レポート	40 %	授業内提出物	10 %	その他	— %						
フィードバックの方法		<ul style="list-style-type: none"> 授業時に提出する出席カードにコメントを記入します。 翌回の授業時に、出席カードの記述に対するフィードバックを行います。 											
教科書・教材		授業時に適宜資料を配布します。											
参考書・参考文献等		授業時に随時紹介します。											
履修上の注意等		<ul style="list-style-type: none"> 各自ファイルを準備し、配布資料を保管しておきましょう。 体験活動を行いますので、動きやすい服装で参加するようにしましょう。 											
回	授 業 計 画						授業時間外学習						
							授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション 三法令における領域「表現」のねらい及び内容を理解する。						図書館やインターネット等で関連する内容を調べる。(目安として1週間あたり15分以上)			授業で配布する資料等を参考に復習する。(目安として1週間あたり30分以上)			
2	幼児の発達や学びの過程を理解し、表現活動において育みたい資質・能力について具体的な場面を想定して考える。						"			"			
3	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を理解し、幼児の表現における内容を理解する。						"			"			
4	現場における事例から幼児の心情・認識・動き等を考察し、幼児が経験し身につけていく表現の内容と指導上の留意点を理解する。						"			"			
5	幼児期の表現活動と、小学校の教科との学びの関連性及び連続性について理解する。						"			"			

6	インクルーシブ保育における表現活動について理解し、歌を通して具体的な場面を想定し考える。	〃	〃
7	表現活動及び指導法に関する実践事例について考察する。	〃	〃
8	表現の引き出し方を理解し、具体的な場面を想定し考える。	〃	〃
9	表現活動や遊びを広げるために、簡易的な楽器を用いた方法を学ぶ。	〃	〃
10	表現活動における情報機器及び教材の活用法について事例を通して体験することで保育構想に活用するアイデアを考える。	〃	〃
11	指導案作成の構造を理解し、活動のねらい及び内容に基づいて教材研究を行う。	〃	〃
12	指導案作成についてグループで教材研究を行う。	〃	〃
13	3歳児から5歳児までの音楽表現の指導案を作成する。	〃	〃
14	13回目で作成した指導案について模擬保育を行い、振り返りを通し改善点について考える。	〃	〃
15	これまで学んだ表現教育や表現活動について、レポートを作成し、学生自身が学んだ内容を可視化する。	〃	〃

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K22442		教職実践演習(幼)				2	15	演習	30	後期	2年	江莉川淳子
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							実務経験
	○	○	○	○								
身につけるべき力												
①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											該当項目に○	
②子どもの心身の特性を知っている												
③子どもにとって望ましい環境を理解している												
④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											○	
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											○	
授業概要		教師として求められる①使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 ②社会性や対人関係能力に関する事項 ③幼児理解や学級経営等に関する事項 ④保育内容等の指導力に関する事項等に関して、グループ討議、模擬保育等を行いながら教員としての実践力を高めていく。										
授業の到達目標		教員の職務についての基本的な事項を理解した上で、教育に対する使命感や情熱を持ち、教員としての資質能力を高めようとする。										
単位認定の方法		期末試験	0%	授業内小テスト	0%	授業内活動	20%	計		100%		
		期末レポート	30%	授業内提出物	50%	その他	0%					
フィードバックの方法		課題レポート(ワーク)は、評価等を書いて翌週に返却する。またグループワークや模擬保育は発表時に解説する。										
教科書・教材		教科書はなし。必要な資料とワークを毎回配布する。										
参考書・参考文献等		「全社協ブックレット⑧～平成29年3月31日告示～保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領」全国保育士会 編 全国社会福祉協議会 「保育教職実践演習 これまでの学びと保育者への歩み」小櫃智子 矢藤誠慈郎編 若葉社										
履修上の注意等		2年間の総まとめであることを自覚し、保育者としての円滑なスタートができるように、向上心をもって臨むこと。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	保育職論① 実習を振り返り、事前学習と照らし合わせながら、教員としての使命感や責任感、教育的愛情の重要性について学びを深める。 ワーク1(実習振り返り)					・ワーク1(実習の振り返り)を記入する。 ・30分以上。			・グループ資料の作成。 ・30分以上。			
2	保育職論② ・グループによる実習後の協議とまとめ。 ・教員の専門性と保育実践の独自性を理解する。 ワーク2(保育者像)					・ワーク2-1を記入する。 ・30分以上。			・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。			
3	保育職論③ ・グループによる実習後の協議とまとめ。 ・保育内容や保育の方法について理解を深める。 ワーク3(保育の形態と諸外国の保育方法)					・諸外国の保育方法を調べる。 ・30分以上。			・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。			
4	保育職論④ 実習報告会において、「子ども理解」「教員の役割」「保育内容」等の理解を深める。 ワーク4(レポート課題)					・各班、発表の練習をする。 ・30分以上。			・課題をまとめる。 ・30分以上。			
5	保育指導① これまでの講義や実習を振り返りながら、指導計画(年間指導計画・月案・週案・日案)の意味と作成上の留意点を確認し、グループ毎に指導案を作成する。 ワーク5(指導案)					・11月の活動案を考える。 ・30分以上。			・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。			

令和5年度

6	<p>保育指導② グループごとに指導案を作成、教材研究を行い指導の展開を工夫する。 ワーク6(グループの模擬保育)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に必要な物の準備や調べ物をする。 ・30分以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
7	<p>保育指導③ グループで立案した指導計画をもとに模擬保育を行い(3歳児対象)、保育内容の研究を深める。 ワーク7・8・9(各グループの模擬保育の評価)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬保育の練習。 ・30分以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
8	<p>保育指導④ グループで立案した指導計画をもとに模擬保育を行い(4歳児対象)、保育内容の研究を深める。 ワーク7・8・9(各グループの模擬保育の評価)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬保育の練習。 ・30分以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
9	<p>保育指導⑤ グループで立案した指導計画をもとに模擬保育を行い(5歳児対象)、保育内容の研究を深める。 ワーク7・8・9(各グループの模擬保育の評価)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬保育の練習。 ・30分以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
10	<p>保育指導⑥ 模擬保育のカンファレンスと振り返り。 ワーク10(各グループの模擬保育の話し合いと評価)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・演目の下調べや準備をする。 ・30分以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
11	<p>幼稚園運営① 園務運営、学級経営、学級環境づくり、子どもへの対応について理解を深め、学級経営案を作成する ゲストスピーカー ワーク11(レポート課題)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級環境作りについてする。 ・30分以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題をまとめる。 ・30分以上。
12	<p>保育運営② 教職間の連携・協働の重要性、家庭との連携(連絡帳)、保護者への対応について理解を深める。 ワーク12(連絡帳)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳について調べる。 ・30分以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
13	<p>現代の教育課題① 特別な支援を要する子どもへの対応について理解を深める。 ゲストスピーカー ワーク13(レポート課題)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を要する子どもについて調べる。 ・30分以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題をまとめる。 ・30分以上。
14	<p>現代の教育課題② 今日的な教育課題(主に学校、家庭、地域社会との連携)に関して、事例検討やロールプレイングを通して、個々の子どもの特性や子ども理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課題について調べる。 ・30分以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
15	<p>保育職論④ これまでの講義を踏まえて、今日教員に求められている資質能力、教員割等から、目指す教師像について確立する。 期末レポート(保育者像)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの講義内容を振り返る。 ・30分以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・期末レポートを記入する。 ・30分以上。

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22211		教育制度・課程論				2	15	講義	30	後期	2年	桐村豪文	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								無
	○	※	○	※									
身につけるべき力												該当項目に○	
ディプロマポリシー (学習成果)	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○	
	②子どもの心身の特性を知っている											—	
	③子どもにとって望ましい環境を理解している											○	
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											—	
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											—	
授業概要		教育課程の意義や、育成すべき資質・能力、幼児教育におけるカリキュラムの考え方、教育課程と指導計画、カリキュラム・マネジメント等の学校教育における幼児教育のカリキュラムの在り方、教育評価の意義や方法について理解する。											
授業の到達目標		教育課程の意義や、育成すべき資質・能力、幼児教育におけるカリキュラムの考え方、教育課程と指導計画、カリキュラム・マネジメント等の学校教育における幼児教育のカリキュラムの在り方、教育評価の意義や方法について理解する。											
単位認定の方法		期末試験	— %	授業内小テスト	— %	授業内活動	— %						計 100 %
		期末レポート	40 %	授業内提出物	60 %	その他	— %						
フィードバックの方法		授業内提出物のフィードバックは授業内で行う。											
教科書・教材		文部科学省（2019）『幼児理解に基づく評価』チャイルド本社											
参考書・参考文献等		文部科学省（2021）『幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開』チャイルド本社 大豆生田啓友，おおえだけいこ（2019）『日本が誇る！ ていねいな保育 0・1・2歳児クラスの現場から』											
履修上の注意等		特になし											
回	授 業 計 画						授業時間外学習						
							授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション									ミニツペーパーの提出・15分			
2	学校教育におけるカリキュラム									ミニツペーパーの提出・15分			
3	保育における計画の変遷、幼稚園教育要領の改訂の変遷									ミニツペーパーの提出・15分			
4	幼児教育の特質と幼児期に育みたい資質・能力									ミニツペーパーの提出・15分			
5	幼稚園における教育課程の役割と編成									ミニツペーパーの提出・15分			

6	保育所における全体的な計画		ミニッツペーパーの提出・15分
7	カリキュラム・マネジメントの意義と実際		ミニッツペーパーの提出・15分
8	幼児理解と評価の考え方		ミニッツペーパーの提出・15分
9	よりよい保育をつくり出すために		ミニッツペーパーの提出・15分
10	保育における幼児理解と評価		ミニッツペーパーの提出・15分
11	よりよい指導につながる記録の生かし方		ミニッツペーパーの提出・15分
12	日常の保育と幼稚園幼児指導要録		ミニッツペーパーの提出・15分
13	幼児理解に基づいた評価の実際（実践事例）		ミニッツペーパーの提出・15分
14	ていねいな保育を考える		ミニッツペーパーの提出・15分
15	保育ドキュメンテーション		ミニッツペーパーの提出・15分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22151		国語科概論		2	15	講義	30	後期	2年	笹森雅子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
	○		○								
身につけるべき力											該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									○
授業概要		「言語を用いた伝達」—書くこと・話すこと—の実践的表現能力を高める。 日常的で使用される実務的実用的な言語の表現をベースとし、国語の基礎知識の確認と応用力を養うための実践的問題演習を行う。									
授業の到達目標		一般社会における正しい言語表現のあり方を理解し、保育者としての的確で簡明な表現能力を習得する。									
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	20 %	授業内活動	%	計		100 %	
		期末レポート	%	授業内提出物	30 %	その他	%				
フィードバックの方法											
教科書・教材		使用しない（授業内容に応じて適宜プリントを配付する）。									
参考書・参考文献等		『保育者になるための国語表現』（萌文書林）ほか									
履修上の注意等		授業で学んだことを日常生活に活かすことができるように、意欲を持って受講すること。									
回	授 業 計 画					授 業 時 間 外 学 習					
						授 業 前 ・ 時 間			授 業 後 ・ 時 間		
1	受講受理（授業計画） 国語の定義、保育者と表現力、概論の授業方法と計画・内容について解説する。					事前にシラバスを読み、本科目の意義を理解しておくこと。			保育者として国語を学ぶ意義を再確認し、配付プリント、ノートをしっかり整理する。（60分以上）		
2	保育者としての国語表現(1) —表現における心構え— 保育現場における、話すこと・聞くこと・書くこと・読むことの実際を学ぶ。					事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。（30分以上）			グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。（30分以上）		
3	保育者としての国語表現(2) —あいさつ・敬語— 保育者として身につける基本的な生活習慣と言葉について確認する。					事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。（30分以上）			グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。（30分以上）		
4	保育者としての国語表現(3) —保育者・子ども・保護者— 対人、状況に応じた適切な表現のあり方について考える。					事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。（30分以上）			グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるよう練習する。（30分以上）		
5	保育者としての国語表現(4) —正しい表記の仕方— 誤字脱字のない簡明な文章表現のための正しい表記を身につける。					事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。（30分以上）			プリントやノートをしっかり整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。（30分以上）		

6	国語の基礎知識(1) ー表記のきまりー 現代仮名遣い、送り仮名、漢字と仮名の使い分け、数字の表記、読点の打ち方、記号類の使い方、原稿用紙の使い方について学ぶ。	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかりと整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
7	国語の基礎知識(2) ー表記のきまりー 現代仮名遣い、送り仮名、漢字と仮名の使い分け、数字の表記、読点の打ち方、記号類の使い方、原稿用紙の使い方についての演習する。	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかりと整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
8	国語の基礎知識(3) ー書き方の工夫ー 文字、漢字、話言葉と書き言葉、略語と外来語、語句の重複、文末表現、常体と敬体、接続助詞、文の長さについて学ぶ。	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかりと整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
9	国語の基礎知識(4) ー書き方の工夫ー 文字、漢字、話言葉と書き言葉、略語と外来語、語句の重複、文末表現、常体と敬体、接続助詞、文の長さについて演習する。	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかりと整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
10	国語の基礎知識(5) ー話すこと・聞くことー 話し方の工夫・ポイント、聞くときの心構え・ポイントを確認する。	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TPOに応じて自分に適用できるように練習する。(30分以上)
11	保育者としての文章表現(1) 書く目的に応じた文の構成を学び、簡潔な文章の書き方、上達するための方法を身につける。	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかりと整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
12	保育者としての文章表現(2) 主語と述語、段落、修飾語、接続語、句読点、文末表現などの正しい使い方の確認をする。	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	プリントやノートをしっかりと整理する。演習問題で不明な点があれば確認し理解する。(30分以上)
13	保育者としての文章表現(3) 履歴書・実習礼状などの手紙の書き方を演習する。	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	実際の演習課題を通して、自分がTPOにふさわしい表現ができているか自己評価する。演習問題で不足な点があれば調べ確認する。(30分以上)
14	保育者としての文章表現(4) 保育日誌・連絡帳・園便りなどの書き方を学ぶ。	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	実際の演習課題を通して、自分がTPOにふさわしい表現ができているか自己評価する。演習問題で不足な点があれば調べ確認する。(30分以上)
15	小論文の書き方を学び、テーマを決めて演習する。	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。(30分以上)	小論文を通して、総合的な国語表現力を自己評価する。不足を感じた点は再度推敲し改善する。(30分以上)

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22352		教育方法・技術				1	15	演習	30	前期	2年	佐藤ゆかり		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験		
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入									
	○		○											
身につけるべき力												該当項目に○		
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○		
		②子どもの心身の特性を知っている												
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○		
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○		
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる												
授業概要		教育の方法や評価の概念を取り扱い、幼児教育の現場で必要とされる教育の技術を講義する。また、ICTを活用した教材制作を通して、情報機器あるいは視聴覚教材の選択や活用等について、実践的な技術を体験させる。												
授業の到達目標		これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。												
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%						計	100 %
		期末レポート	%	授業内提出物	100 %	その他	%							
フィードバックの方法		課題提出後、提出された課題の一部を授業のTeams内で紹介する。												
教科書・教材		その都度配布する資料に基づいて行う。												
参考書・参考文献等														
履修上の注意等		予習・復習することが望ましい。課題等の提出物は次回の授業前までに提出する。												
回	授 業 計 画						授業時間外学習							
							授業前・時間			授業後・時間				
1	教育方法の歩みについて						授業内容について予習・30分程度			授業内容について復習・30分程度				
2	教授・学習理論について						授業内容について予習・30分程度			授業内容について復習・30分程度				
3	教育課程と教育評価について						授業内容について予習・30分程度			授業内容について復習・30分程度				
4	幼児教育の方法を支える専門性について						授業内容について予習・30分程度			授業内容について復習・30分程度				
5	幼児理解と保育者の役割について						授業内容について予習・30分程度			授業内容について復習・30分程度				

6	保育の計画と環境構成について	授業内容について予習・30分程度	授業内容について復習・30分程度
7	幼児の遊びについて－協同的な経験と学び	授業内容について予習・30分程度	授業内容について復習・30分程度
8	保育における記録について	授業内容について予習・30分程度	授業内容について復習・30分程度
9	省察とカンファレンスについて	授業内容について予習・30分程度	授業内容について復習・30分程度
10	子どもとメディアについて	授業内容について予習・30分程度	授業内容について復習・30分程度
11	子どもの学びとICT(1)－情報機器の種類と利用	授業内容について予習・30分程度	授業内容について復習・30分程度
12	子どもの学びとICT(2)－視聴覚教材の活用法	授業内容について予習・30分程度	授業内容について復習・30分程度
13	ICTを活用した事例(1)－画像ソフトを利用した観察教材の製作	授業内容について予習・30分程度	授業内容について復習・30分程度
14	ICTを活用した事例(2)－プレゼンテーションソフトを利用したお話の製作	授業内容について予習・30分程度	授業内容について復習・30分程度
15	教師の身体とことばについて	授業内容について予習・30分程度	授業内容について復習・30分程度

ナンバリング		科目名			単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K22453		教育実習			4	集中	実習	80	前期	2年	幼稚園教諭課程委員会
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター							実務経験
	○		○								○
ディプロマポリシー (学習成果)	身につけるべき力										該当項目に○
	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
	②子どもの心身の特性を知っている										○
	③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要	これまでの専門知識・保育技術の習得を経て本実習として実地におもむき、幼児教育の内容や幼稚園の機能、教師の役割を具体的に学ぶ。										
授業の到達目標	学内で学んだ専門知識や技能を現場において総合的に実践し、子どもとのふれあいを通して教師の職務を体験し、応用力を身に付ける。幼児教育の内容や幼稚園の機能、教師の役割を具体的に学ぶ。										
単位認定の方法	期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %				
	期末レポート	%	授業内提出物	40 %	その他	60 %					
フィードバックの方法	実習先からの評価を伝える。実習録の評価を行い返却する。										
教科書・教材	「幼稚園・保育所実習の手引き」 柴田学園大学短期大学部 幼稚園教諭課程委員会・保育士課程委員会編										
参考書・参考文献等	幼稚園教育要領、必要に応じて資料を配付する。										
履修上の注意等	実習の意義・目的・内容を十分理解したうえで、事前準備をしっかりと整えて実習に臨むこと。										
回	授 業 計 画						授業時間外学習				
							授業前・時間		授業後・時間		
1	○実習期間：令和5年9月6日～9月20日										
2	○実習施設：1年次の実習園と同じ園での実習を行うことを原則とする。										
	○実習形態：①参加実習 ②指導実習を中心に実施する。										
3	①参加実習 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加										
	②指導実習 実習生の指導計画と準備に基づく主体的な保育活動の実践										
4	○実習内容 参加実習・指導実習(部分・全日)の段階目標に従って学ぶ。										
5	※実習期間中に教職課程委員会の委員が実習先を訪問し、学生との面談を通して指導・助言する。										

令和5年度

6
7
8
9
10
11
12
13
14
15

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K22452		教育実習事前事後指導				1	4	演習	8	前期	2年	島内智秋・佐々木典彰
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							実務経験
	○		○									
身につけるべき力											該当項目に○	
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		1年次に続く2年間で計8回の授業であり、2年前期は個人やグループで調べ学習を行い、最後グループで発表する。 なお、授業は第13回目から始まる。										
授業の到達目標		本実習で特に学びたいこと（着眼点）を明確にする。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計				100 %
		期末レポート	100 %	授業内提出物	%	その他	%					
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。										
教科書・教材		なし。随時プリント等を用いる。										
参考書・参考文献等		石橋裕子 ほか著「幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド 知りたいときにすぐわかる」同文書院										
履修上の注意等		授業開始は第11回目の時期（6月下旬頃）です。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	(事前指導) 実習で特に学びたいことについて調べる（個人で）。					左記に関することをネット検索等で調べる・30分以上			さらに調べる・30分以上			
2	(事前指導) 実習で特に学びたいことについて調べる（グループで）。 ※1グループ4～5名					調べたことをまとめておく・30分以上			グループで調べたことをまとめる・30分以上			
3	(事前指導) 実習で特に学びたいことについて発表する（グループで）。					発表の準備をする・30分以上			他の発表も参考にして学びたいことを整理する・30分以上			
4												
5												

ナンバリング	科目名	単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K22452	教育実習事前事後指導	1	1	演習	2	後期	2年	島内智秋・佐々木典彰
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目						
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入			実務経験
	○		○					
ディプロマポリシー (学習成果)	身につけるべき力							該当項目に○
	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける							○
	②子どもの心身の特性を知っている							
	③子どもにとって望ましい環境を理解している							
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている							
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる								
授業概要	1年後期および2年前期に続く授業であり、2年後期は幼稚園教諭としての自己評価を行う。 なお、授業は第1回目で終了する。							
授業の到達目標	「履修カルテ」の作成を通してこれまでの学びを確認し、今後の課題を明確にする。							
単位認定の方法	期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %	
	期末レポート	100 %	授業内提出物	%	その他	%		
フィードバックの方法	成績不良者に個別指導を行う。							
教科書・教材	なし。随時プリント等を用いる。							
参考書・参考文献等								
履修上の注意等	授業は第1回目で終了です。							
回	授 業 計 画			授業時間外学習				
				授業前・時間		授業後・時間		
1	(事後指導) 履修カルテを作成する。			幼稚園教諭課程で身につけたことを振り返る・30分以上		今後の課題に取り組み始める・30分以上		
2								
3								
4								
5								

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K23032		子どもと造形(1)				1	15	演習	30	前期	2年	岩井康頼
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	※		※								
身につけるべき力												該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○
	②子どもの心身の特性を知っている											○
	③子どもにとって望ましい環境を理解している											○
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											○
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要		幼児の造形活動において保育者は環境を設定し素材・材料を整えどのように展開するか、また保育者が造形指導の鍵となる為、適切な支援ができるよう、学ぶ。造形表現の楽しさを実習から体感し、獲得した知識・技術・態度等を踏まえ、グループで解決する能力を習得する。視聴覚教材から基礎的知識の習得や総合的発表（ファッションショー）を学び、自らの実践により具体的展開の技術を習得し、将来、指導、支援する幼児の安全な創造活動について学ぶ。										
授業の到達目標		視聴覚教材「ファッションショー（衣装制作）動画」から基礎的知識の衣装デザイン・振付（歩き方）・BGM(音響)等を学び、実際の制作より総合的発表（ショー）に向けて見る、見せる、演ずる等の表現法を学ぶ。授業内で制作した作品を鑑賞し、他者の作品の良さを認め励ます評価（支援する）方法を身につける。										
単位認定の方法		期末試験	40 %	授業内小テスト	%	授業内活動	40 %					計 100 %
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%					
フィードバックの方法		グループワーク、プレゼンテーションは発表時に解説する。										
教科書・教材		随時、資料を配布する。幼稚園要領解説（フレーベル館）、保育所保育指針解説（フレーベル館）、幼保連携認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）										
参考書・参考文献等		現代の社会問題などに興味関心を持ち、美術、造形、衣装関係、SDGs等の文献には興味を持って読んでおく。										
履修上の注意等		制作時、衣服が汚れる場合があります。トレーニングウェア、エプロン着用可。										
回	授 業 計 画						授業時間外学習					
							授業前・時間			授業後・時間		
1	美術への案内「上手なだけの絵はいらぬ」。美術の基礎と「あそび」は生きる原動力。視聴覚教材「どろあそび動画」						「人間は遊ぶ存在」「ホモ・ルーデンス人類文化と遊戯」ヨハン・ホイジンガー著等を調べる。30分			「人間は遊ぶ存在」「ホモ・ルーデンス人類文化と遊戯」ヨハン・ホイジンガー著。学習内容を整理する。30分		
2	子育て保育の「認知能力」と「非認知能力」。非認知能力（感情や心の動き）の世界はどうしたら伸びる。						「認知能力」と「非認知能力」の違いを調べておく。30分			学習内容を整理する。30分		
3	①「世界に1点しかない楽しい版画（モノプリント）をつくらう」。「絵画」から「版画」への導入編。行為から生まれる「痕跡と記録」 視聴覚教材「モノプリント2本、動画」						「絵画」と「版画」の違いを調べておく。20分			学習内容を整理する。30分		
4	②身近な素材による教材研究 貼り絵「心に残るかけがえのない1日」						雑誌、広告、新聞紙等を用意する。20分			授業内での制作時間が足りない場合、時間外で制作する。30分		
5	②身近な素材による教材研究 貼り絵「心に残るかけがえのない1日」						雑誌、広告、新聞紙等を用意する。20分			時間内に完成しない場合、時間外に制作する。30分		

6	② 美術鑑賞法 ACOP (Art Communication Program) と対話型鑑賞法	美術鑑賞法 ACOP (Art Communication Program) とは、調べておく。20分	振り返りをまとめる。30分
7	③ 身近な素材による教材研究「もし服飾デザイナーになったら」「ゴミ袋で魅力的な衣装制作」ファッションへの導入、感覚を豊かに遊びの中からイメージを膨らまそう「プリコラージュ」の視点で視聴覚教材動画10本	「プリコラージュ」とは何かを調べておく。20分	振り返りをまとめる。30分
8	③ 「もし服飾デザイナーになったら」舞台を想定し「着る×包む×観せる」からコンセプト作成	材料の準備。20分	グループごとにコンセプト作成 (A4) 30分
9	③ 「もし服飾デザイナーになったら」「着る×包む×観せる」コンセプトをもとにラフスケッチ制作 (4つ切り画用紙)	材料の準備。20分	ラフスケッチ作成 (着彩) 制作時間内にラフスケッチが完成できない場合は授業以外に時間を見つけて完成させる。30分
10	③ 「もし服飾デザイナーになったら」「着る×包む×観せる」舞台を想定し共同制作	舞台を想定し振付を考える。20分	制作時間が足りない場合は、授業以外に時間を見つけて制作する。30分
11	③ 「もし服飾デザイナーになったら」「着る×包む×観せる」舞台を想定し共同制作	舞台を想定し振付を考える。20分	ショーを想定したBGMを選曲をする。制作時間が足りない場合は、授業以外に時間を見つけて制作する。30分
12	③ 「もし服飾デザイナーになったら」舞台を想定し共同制作振付。BGMの検討	ショーを想定したBGMを用意する。20分	ショーを想定したBGMと時間配分のリハーサル (振付) をしておく。制作時間が足りない場合は授業以外に時間を見つけて制作する。30分
13	③ 「もし服飾デザイナーになったら」ファッションショーを想定したリハーサル	BGMはスマートフォンからUSB or 生演奏から。20分	本番を想定しリハーサルをしておく。制作時間内に完成できない場合は授業以外に時間を見つけて完成させる。30分
14	③ 授業で切磋琢磨して作り上げたお披露目会 (ファッションショー) 各班ごとのグループ発表	BGMはスマートフォンからUSB or 生演奏から。20分	振り返りをまとめる。30分
15	③ 最終回は「動画 (ファッションショー) で鑑賞」し、レポート課題	グループごとに作成したコンセプト文をチェックする。20分	レポート課題提出

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K23032		子どもと造形(2)				1	15	演習	30	後期	2年	岩井康頼
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							実務経験
	○	※		※								
身につけるべき力												
ディプロマポリシー (学習成果)	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											該当項目に○
	②子どもの心身の特性を知っている											○
	③子どもにとって望ましい環境を理解している											○
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											○
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要		幼児の造形活動において保育者は環境を設定し素材・材料を整えどのように展開するか、また保育者が造形指導の鍵となる為、適切な支援ができるよう、学ぶ。造形表現の楽しさを実習から体感し、獲得した知識・技術・態度等を踏まえ、グループで解決する能力を習得する。視聴覚教材から基礎的知識の学び、そして自らの実践により具体的展開の技術を習得し、将来、指導、支援する幼児の安全な創造活動について学ぶ。										
授業の到達目標		子どもの「あそび」という体験が日常から造形につながり、そして子どもの成長に不可欠な「学び」が含まれていることを理解する。幼児と共に感じ活動できる能力を涵養し、幼児の理解や支援に必要な基礎知識を習得する。授業内で制作した作品を鑑賞し、他者の作品の良さを認め励ます評価（支援する）方法を身につける。										
単位認定の方法		期末試験	40 %	授業内小テスト	%	授業内活動	40 %	計		100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%					
フィードバックの方法		グループワーク、プレゼンテーションは発表時に解説する。										
教科書・教材		随時、資料を配布する。幼稚園要領解説（フレーベル館）、保育所保育指針解説（フレーベル館）、幼保連携認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）										
参考書・参考文献等		人間が生きるために不可欠な「衣食住」に関する文献を読むこと。美術・音楽は「日々の暮らし」から。										
履修上の注意等		制作時、衣服が汚れる場合があります。トレーニングウェア、エプロン着用可。										
回	授 業 計 画						授業時間外学習					
							授業前・時間	授業後・時間				
1	「美術とアート」 美しい暮らしと美術の役割。「着て食べて・個人の暮らし」が基本。「本当の豊かさ」とは						『暮らしの手帖』を調べておく。30分	講義内容を整理する。30分				
2	① 自然と対話しながら「自画像＝樹木」を描く 「自画像と樹木」について作文紹介						水彩画の基本的な扱い方を調べる。20分	自画像としての樹木を探す。課題：「自画像と樹木」について作文作成。30分				
3	① 自然と対話しながら「自画像＝樹木」を描く：水彩画						絵の具の準備。20分	制作時間が足りない場合は、授業以外に時間を見つけ制作する。30分				
4	① 自然と対話しながら「自画像＝樹木」を描く：水彩画						絵の具の準備。20分	制作時間が足りない場合は、授業以外に時間を見つけ制作する。30分				
5	① 自然と対話しながら「自画像＝樹木」を描く：水彩画						絵の具の準備。20分	制作時間が足りない場合は、授業以外に時間を見つけ制作する。30分				

6	① 美術鑑賞法 ACOP (Art Communication Project) 対話型鑑賞法 「自画像＝樹」：自作の作文を読む	自作の作文を発表用に用意しておく。30分	振り返りをまとめる。30分
7	② スチレン版画「SDGsをテーマ」に共同制作 コンセプトを練る	SDGsについて調べておく。30分	共同制作なので各グループ内での対話を重ねコンセプトをまとめ構成する。30分
8	② スチレン版画「SDGsをテーマ」に共同制作 コンセプトを下絵を作成	実制作による描画材の準備。20分	コンセプトを下絵を作成。30分
9	② スチレン版画「SDGsをテーマ」に共同制作・コンセプトを下絵を完成	実制作による描画材の準備。20分	制作時間が足りない場合は、授業以外に時間を見つけ制作する。30分
10	② スチレン版画「SDGsをテーマ」に共同制作 作成、試し刷りをしつつ加筆する。完成	実制作による描画材の準備。20分	制作時間内に「刷り」の作業が終了しない場合、授業以外に時間を見つけて完成させる。30分
11	② 美術鑑賞法 ACOP (Art Communication Project) 対話型鑑賞法	各班ごとのコンセプトの紹介文を用意。20分	振り返りをまとめる。30分
12	③ フロッタージュ（擦り出し）作品制作 共同で学内より採取（集）	フロタージュとはを調べておく。30分	授業時間内にフロタージュの採取できない場合は授業以外に採取する。30分
13	③ フロッタージュ（擦り出し）作品制作 共同で学内より採取（集）	学内でフロタージュの採取しておく。30分	授業時間内にフロタージュの採取できない場合は授業以外に採取する。30分
14	③ フロッタージュ（擦り出し）作品制作の完成	学内でフロタージュの採取しておく。30分	授業時間内にフロタージュの採取できない場合は授業以外に採取する。30分
15	③ 美術鑑賞法 ACOP (Art Communication Project) 対話型鑑賞法	各自のコンセプトの紹介文を用意。30分	振り返りをまとめる。30分

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22011		子ども家庭支援論				2	15	講義	30	前期	2年	安川由貴子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							実務経験	
	○	○		○									
身につけるべき力											該当項目に○		
ディプロマポリシー (学習成果)	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○	
	②子どもの心身の特性を知っている											○	
	③子どもにとって望ましい環境を理解している											○	
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている												
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											○	
授業概要		保育士は、保護者への子育ての問題や課題に対する支援と、地域の子育て家庭への支援が必要とされている。授業では、子ども家庭支援の必要性を認識し、その意義や目的を学ぶ。また、保育の専門性を活かした家庭支援のあり方について学び、それを支える社会資源や施策等の子育て支援体制を踏まえ、具体的な支援方法について理解を深める。そして、これからの子ども家庭支援のあり方について考える。											
授業の到達目標		1. 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。 2. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。 3. 子育て家庭に対する支援の体制について理解する。 4. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。											
単位認定の方法		期末試験	40 %	授業内小テスト	%	授業内活動	30 %						計 100 %
		期末レポート	%	授業内提出物	30 %	その他	%						
フィードバックの方法		コメント・ペーパーの内容や質問は授業内に適宜共有し、学びを深める手立てとする。グループワークを行った際には、発表時に解説する。											
教科書・教材		レジュメ・資料を配付する。厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館、平成30年。											
参考書・参考文献等		授業中に適宜紹介する。											
履修上の注意等		社会に広く目を向け、子ども家庭支援を身近なこととして捉えて授業に臨んでください。また、グループワークの機会も適宜取り入れるので、積極的な参加を期待します。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	子ども家庭支援の意義と役割 (1) 子ども家庭支援の意義と必要性					テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。(90分)			復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。(90分)				
2	子ども家庭支援の意義と役割 (2) 子ども家庭支援の目的と機能					テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。(90分)			復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。(90分)				
3	保育士による子ども家庭支援の意義と基本 (1) 保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義					テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。(90分)			復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。(90分)				
4	保育士による子ども家庭支援の意義と基本 (2) 子どもの育ちの喜びの共有					テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。(90分)			復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。(90分)				
5	保育士による子ども家庭支援の意義と基本 (3) 保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援					テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。(90分)			復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。(90分)				

6	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（４）保育士に求められる基本的態度（受容的関わり・自己決定の尊重・秘密保持等）	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
7	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（５）家庭の状況に応じた支援	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
8	保育士による子ども家庭支援の意義と基本（６）地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
9	子育て家庭に対する支援の体制（１）子育て家庭の福祉を図るための社会資源	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
10	子育て家庭に対する支援の体制（２）子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努め、弘前市の子育て支援の取り組みについて調べ、ミニレポートを作成すること。（90分）
11	多様な支援の展開と関係機関との連携（１）子ども家庭支援の内容と対象	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
12	多様な支援の展開と関係機関との連携（２）保育所等を利用する子ども家庭への支援	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
13	多様な支援の展開と関係機関との連携（３）地域の子育て家庭への支援	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
14	多様な支援の展開と関係機関との連携（４）要保護児童及びその家庭に対する支援	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）
15	多様な支援の展開と関係機関との連携（５）子ども家庭支援に関する現状と課題	テーマについて情報収集し、問題意識をもち考えてくること。（90分）	復習を通じて、授業内容の理解に努めること。また、新たに出てきた疑問等について自ら調べる姿勢を大切にすること。（90分）

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22032		子どもの健康と安全				1	15	演習	30	前期	2年	佐々木 美子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								
	○	○		○									
身につけるべき力												該当項目に○	
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○	
		②子どもの心身の特性を知っている										○	
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○	
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要		子どもの発達状態等に即した適切な対応について、具体的に理解する。 子どもの健康及び安全の管理に関わる組織的な取り組みや保健活動の計画及び評価等について、具体的に理解する。											
授業の到達目標		保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 衛生管理、事故防止及び安全対策、危機管理、災害、感染対策について具体的に理解する。											
単位認定の方法		期末試験	60 %		授業内小テスト	%		授業内活動	20 %		計		100 %
		期末レポート	%		授業内提出物	20 %		その他	%				
フィードバックの方法		課題レポートは添削、授業で解説する。											
教科書・教材		「授業で現場で役立つ 子どもの健康と安全 演習ノート」編著 小林美由紀・診断と治療社											
参考書・参考文献等		「子どもの保健テキスト」編著 小林美由紀											
履修上の注意等		「子どもの保健」で学んだ基本的知識を基にプリント等で振り返りをしながら、子どもの健康に関して理解を深める。演習を通して積極的に意欲をもって取り組む姿勢を身に付ける。救命講習を受講し学ぶ。											
回	授 業 計 画						授業時間外学習						
							授業前・時間			授業後・時間			
1	第1章 保健的観点を踏まえた保育環境や援助 ①子どもの健康と保育環境						シラバスに目を通す 教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
2	第1章 保健的観点を踏まえた保育環境や援助 ②子どもの保健に関する個別対応と集団生活の健康及び安全の管理						教科書を読む 自分の体温、脈拍、呼吸数を測定、 記録 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
3	第2章 保育における健康及び安全の管理 ①衛生管理						教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
4	第2章 保育における健康及び安全の管理 ②事故防止及び安全対策						教科書を読む 子どもに多い事故は何か調べる 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			
5	第2章 保育における健康及び安全の管理 ③危機管理と災害への備え						教科書を読む 30分以上			教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上			

6	第3章 子どもの体調不良などに対する適切な対応 ①体調不良や障害が発生した場合の対応と応急措置	教科書を読む 体調の悪い子どもに飲食させてもい いものは何か調べる 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
7	第4章 子どもがよくかかる感染症の対策 ①感染症の集団発生の予防	教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
8	第4章 子どもがよくかかる感染症の対策 ②感染症発生時と罹患後の対応	教科書を読む 自分の予防接種歴を調べる 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
9	第5章 保育に必要な保健的対応 ①保育における保健的対応の基本的な考え方 ②3歳未満児への対応 1	教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
10	第5章 保育に必要な保健的対応 ②3歳未満児への対応 2	教科書を読む おむつ交換、衣服の着脱など予習す る30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
11	第5章 保育に必要な保健的対応 ③個別的な配慮を要する子どもへの対応 ④障害をもつ子どもへの対応	教科書を読む 慢性疾患について調べる30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
12	第6章 健康及び安全の管理の実施体制 ①保育における保健活動の計画及び評価 ほけんだより作成①	教科書を読む ほけんだよりについて調べる 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
13	第6章 健康及び安全の管理の実施体制 ②保健活動における職員間の連携・協働と関係機関との連携 ほけんだより作成②	教科書を読む ほけんだより作成の計画 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
14	第3章 子どもの体調不良などに対する適切な対応 ②救急処置および心配蘇生法 1	教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上
15	第3章 子どもの体調不良などに対する適切な対応 ②救急処置および心配蘇生法 2	教科書を読む 30分以上	教科書での振り返り (課題への取り組み) 30分以上

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22032		社会的養護(2)				1	15	演習	30	前期	2年	佐藤優輝	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								
	○	○		○									
身につけるべき力												該当項目に○	
ディプロマポリシー (学習成果)	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○	
	②子どもの心身の特性を知っている											○	
	③子どもにとって望ましい環境を理解している											○	
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている												
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											○	
授業概要		社会的養護の分野は児童養護施設や乳児院だけでなく、里親や里親ファミリーホーム、児童心理治療施設や児童自立支援施設など幅が広い。様々な事例についてグループ内で意見交換し発表すること、また発表された内容に解説を加えることで、事例を多角的に捉える視点を養う。											
授業の到達目標		社会的養護における様々な困難ケースについての対応や考え方を理解する。											
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	40		%		計 100 %
		期末レポート	40 %		授業内提出物	%		その他	20		%		
フィードバックの方法		グループで発表した内容に対し、口頭で解説する。必要に応じ参考文献等を示す。レポートや課題については評価基準を解説する。											
教科書・教材		児童の福祉を支える〈演習〉社会的養護II 吉田真理 萌文書林											
参考書・参考文献等													
履修上の注意等		グループで話し合う機会が多いので積極的に参加してほしい。											
回	授 業 計 画						授 業 時 間 外 学 習						
							授 業 前 ・ 時 間			授 業 後 ・ 時 間			
1	子どもの理解について												
2	権利擁護について						事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)						
3	治療的支援・養育について						事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)						
4	自立支援						事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)						
5	事例検討(アタッチメント)						事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)						

6	事例検討(被虐待児対応)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
7	事例検討(被虐待児対応)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
8	事例検討(発達障がい)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
9	事例検討(自立支援)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
10	事例検討(アフターケア)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
11	事例検討(家庭養護)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
12	事例検討(地域連携)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
13	事例検討(家庭養護)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
14	事例検討(自立支援計画、記録作成)	事前に予告された学習範囲について教科書等に目を通すことで理解を深める(15分)	
15	家庭的養護と地域分散化の推進		

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K22032		子育て支援				1	15	演習	30	前期	2年	江莉川淳子
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	○		○								
身につけるべき力												該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○
授業概要		保育者が行う子育て支援の特色を知り、保護者支援の実際からその対応の意義や内容・方法などの基本をよく理解できるように、講義や演習課題の中から学びを深める。										
授業の到達目標		子育て支援の意義と目的、理念について理解する。また、支援の方法及び技術を様々な事例を通して具体的に理解を深めることで、専門職にふさわしい考え方や姿勢を身につける。										
単位認定の方法		期末試験	50%	授業内小テスト	0%	授業内活動	25%	計				100%
		期末レポート	0%	授業内提出物	25%	その他	0%					
フィードバックの方法		課題(ワーク)は、評価等を書いて翌週の返却時に解説する。										
教科書・教材		使用しない。										
参考書・参考文献等		○「学ぶ・わかる・みえるシリーズ保育と現代社会 演習・保育と子育て支援」編集小原敏郎 橋本好市 三浦主博 株式会社みらい ○「実践・保育相談支援」青木紀久代 編著 株式会社みらい ○「保育相談支援」大嶋恭二・金子恵美編著 建帛社 ○「保護者支援・対応のワークとトレーニング」新保庄三 田中和子 編著 ひとなる書房 ○「子育て支援」二宮祐子著者、萌文書林										
履修上の注意等		・保育者になったことをイメージして受講すること。 ・グループワークや調べ学習、ロールプレイなど適宜取り入れるため、積極的に受講すること。										
回	授 業 計 画					授 業 時 間 外 学 習						
						授 業 前 ・ 時 間			授 業 後 ・ 時 間			
1	子育て支援とは 子育て支援の制度的基盤について ・ワーク1「夜型の生活リズムの家庭」					・保育所保育指針「第4章子育て支援」を通読する。 ・30分以上。			・ワークの提出とテキストの振り返り。 ・30分以上。			
2	子育て支援の意義 子育て支援が求められる社会的背景 ・ワーク2「おむつ外しに悩む保護者」					・子どもの身近自立とその援助方法について調べる。 ・30分以上。			・ワークの提出とテキストの振り返り。 ・30分以上。			
3	子育て支援の基本的価値・倫理 子どもの最善の利益の尊重 ・ワーク3「気になる子と気にならない保護者」					・「気になる子」について、障害児保育について調べる。 ・30分以上。			・ワークの提出とテキストの振り返り。 ・30分以上。			
4	子育て支援の基本的姿勢 家庭や地域の社会資源との連携 ・ワーク4「貧困家庭」					・「貧困家庭」について調べる。 ・30分以上			・ワークの提出とテキストの振り返り。 ・30分以上。			
5	子育て支援の基本的技術 子育てのプロセス ・ワーク5「父子家庭」					・「ソーシャルワーク」について調べる。 ・30分以上。			・ワークの提出とテキストの振り返り。 ・30分以上。			

6	園内・園外との連携と社会資源 ・ワーク6「虐待傾向のある母子家庭」	・「虐待」の種類やその特徴を調べる。 ・30分以上。	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上。
7	記録・評価・研修 ・ワーク7「ステップファミリー」	・様々な家族の形態や家族問題について調べる。 ・30分以上。	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上。
8	日常会話を活用した子育て支援 ・ワーク8「かみつきによるトラブルと対応」	・コミュニケーション技法の復習。 ・30分以上。	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上。
9	文書を活用した子育て支援 ・ワーク9「アレルギー児への医療などの対応」	・子どものアレルギーについて調べる。 ・30分以上。	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上。
10	行事などを活用した子育て支援 ・ワーク10「日本語を母国としない保護者達」	外国人の保護者についてテキストを通読する。 ・30分以上。	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上。
11	環境を活用した子育て支援 環境をととした子育て支援の意義と方法 ・ワーク11「新入園児の保護者」	・子育て支援における「環境」について調べる。 ・30分以上。	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上。
12	地域子育て支援拠点における支援 地域子育て支援拠点とは ・ワーク12「ひろばデビューの専業主婦」	・地元の地域子育て支援拠点について調べる。 ・30分以上。	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上。
13	入所施設における子育て支援 入所施設における支援の方法 ・ワーク13「子どもと向き合うことに困難を感じる保護者」	・入所型児童福祉施設について調べる。 ・30分以上。	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上。
14	通所施設における子育て支援 通所施設を利用する保護者の傾向と支援方法 ・ワーク14「子どもの育ちに不安と焦りを感じる保護者」	・児童発達支援センターについて調べる。 ・30分以上。	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上。
15	保育者に求められる子育て支援	・今までのワークやテキストを振り返え、今後の課題を見いだす。 ・30分以上。	・ワークの提出とテキストの振り返り ・30分以上。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22043		保育実習(2)		2	-	実習	-	集中	2年	保育科課程委員会	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
	○	○		○							
ディプロマポリシー (学習成果)	身につけるべき力										該当項目に○
	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
	②子どもの心身の特性を知っている										○
	③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										○	
授業概要	保育現場において、授業で学んだ専門知識や技能を総合的に実践し、子どもとのふれあいを通じて保育士の職業を体験的に学習する。										
授業の到達目標	授業で学んだ知識や技術を基礎とし、観察・参加実習を通して①保育所の役割と機能②観察や子どもとの関わりを通しての子ども理解③子どもの保育及び保護者への支援④保育の計画、観察、記録及び自己評価⑤保育士の役割と職業倫理などを具体的に理解する。										
単位認定の方法	期末試験	0%	授業内小テスト	0%	授業内活動	60%			計		100%
	期末レポート	0%	授業内提出物	40%	その他	0%					
フィードバックの方法	実習先からの評価を伝える。実習録の評価を行い返却する。										
教科書・教材	保育所保育指針、必要に応じて資料を配付する。										
参考書・参考文献等	「幼稚園・保育所・施設実習 実習の手引き」 柴田学園大学短期大学部 幼稚園教諭課程委員会・保育士課程委員会編										
履修上の注意等	学外実習の規定を遵守し、実習の意義・目的・内容を十分に理解したうえで、事前準備をしっかりと整えて実習に臨むこと。また、1年次の実習体験の継続として、深化・理解できるように学ぶこと。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習					
						授業前・時間			授業後・時間		
1	【保育所実習】2単位 ○実習期間：令和5年8月16日～8月30日（13日間） ○実習形態：①参加実習、②指導実習を中心に実施する。 ①参加実習 保育者の指導計画と指導方針に基づく補助的な活動への参加 ②指導実習 実習生の指導計画と準備に基づく主体的な保育活動の実践 ○実習内容 1. 保育所の役割や機能の具体的展開 (1) 養護と教育が一体となって行われる保育										
2											
3											
4											
5											

6	(2) 保育所の社会的役割と責任
	2. 観察にもとづく保育の理解
7	(1) 子どもの心身の状態や活動の観察
	(2) 保育士等の援助や関わり
8	(3) 保育所の生活の流れや展開の把握
	3. 子どもの保育及び保護者・課程への支援と地域社会等との連携
9	(1) 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育
	(2) 入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援
10	(3) 関係機関や地域社会との連携・協働
	4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価
11	(1) 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解
	(2) 作成した指導計画に基づく保育の実践と評価
12	5. 保育士の業務と職業倫理
	(1) 多様な保育の展開と保育士の業務
13	(2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理
	6. 自己の課題の明確化
14	
15	※実習期間中に保育士課程委員会の委員が実習先を訪問し、学生との面談を通して指導・助言をする。

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
K22042		保育実習指導(2)				1	15	演習	30	前期	2年	佐々木美子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験		
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入									
	○	○		○										
身につけるべき力												該当項目に○		
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○		
		②子どもの心身の特性を知っている										○		
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○		
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○		
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる												
授業概要		保育実習(1)での体験を振り返りながら、自己の課題を明確にしたうえで、保育実践に向けて具体的な指導計画の作成や保育士の専門性と職業倫理について学習する。												
授業の到達目標		保育実習(1)での自己課題を明確にしたうえで、保育について総合的に学び、保育者としての役割を理解する。保育実習(1)の体験を振り返りながら、実習の意義と目的の理解を深化させ、さらには保育士理解・保育内容を総合的に学ぶ。												
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	40	%	計				100	%
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	10						
フィードバックの方法		課題レポートは添削、または次回授業で解説する												
教科書・教材		なし												
参考書・参考文献等		保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、必要に応じて資料を配付する。												
履修上の注意等		保育に関する専門科目の講義内容と関連させながら知識を深めること。												
回	授 業 計 画						授 業 時 間 外 学 習							
							授 業 前 ・ 時 間			授 業 後 ・ 時 間				
1	実習の意義・目的・内容の理解①保育実習(1)の体験を振り返り、自らの課題を明確にする						施設実習の振り返りをしてまとめる 30分以上			講義内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上				
2	実習の意義・目的・内容の理解②保育実習(1)の体験を振り返り、自らの課題を明確にする						施設実習の振り返り発表の準備をする 30分以上			授業内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上				
3	子どもの最善の利益を考慮した保育について考える						最善の利益について調べてまとめる 30分以上			講義内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上				
4	保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ						職業倫理について調べてまとめる 30分以上			授業内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上				
5	実習の形態(観察実習・参加実習・部分実習・全日実習)と意義・内容について具体的に学ぶ						実習の形態について調べる 30分以上			授業内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上				

6	実習記録の方法①記録の意義を理解し、記録のとり方について具体的に学ぶ	日誌の書き方を振り返る 30分以上	講義内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上
7	実習記録の方法②記録の意義を理解し、記録のとり方について具体的に学ぶ	日誌の書き方を振り返る 30分以上	課題に取り組む 30分以上
8	実習先に提出する必要書類の作成や事務手続きの方法を知る	書類作成に必要な準備をする 30分以上	授業内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上
9	指導計画作成の実際①指導案の必要性を理解し、活動のねらい・内容・配慮点などを中心に立案方法を学ぶ	活動のねらい・内容・配慮とは何か調べる 30分以上	講義内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上
10	指導計画作成の実際②年齢に適した指導案を作成する（部分実習の指導案作成）	部分実習案を考える 30分以上	講義内容をノートにまとめる 課題に取り組む 30分以上
11	指導計画作成の実際③年齢に適した指導案を作成する（全日実習の指導案作成）	全日指導案の流れを調べる 30分以上	課題に取り組む 30分以上
12	指導計画作成の実際④年齢に適した指導案を作成する（全日実習の指導案作成）	全日指導案の流れを考える 30分以上	課題に取り組む 30分以上
13	指導計画作成の実際⑤指導案作成上の問題点について質疑応答をし、さらに理解を深める	指導案作成にあたっての疑問点をまとめる 30分以上	課題に取り組む 30分以上
14	実習中の心構えを具体的に理解し、実習に対しての目的意識を高める	実習の心構えについて、資料を読む 30分以上	課題に取り組む 30分以上
15	実習後には振り返りを行い、今後の課題を明確にする（レポート作成について）	実習のマナーについてプリントに目を通す 30分以上	講義内容をノートにまとめる 30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K23032		ピアノ表現(1)		1	15	演習	30	前期	2年	金山茉莉花・工藤里砂子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
	○	※		※							
身につけるべき力											該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
	②子どもの心身の特性を知っている										
	③子どもにとって望ましい環境を理解している										
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		個人の習熟度や経験により、それぞれ課題を設定する。毎回課題として出された曲を次の授業までに譜読みし、練習することで、ピアノ伴奏及び弾き歌いの技術を学ぶ。									
授業の到達目標		幼児教育・保育現場における音楽活動は、子どもの感性や表現力を豊かにするために不可欠である。その音楽活動の要である弾き歌いの技術を身に付ける。ピアノ基礎(1)(2)で習得したピアノ演奏の基礎知識や技術をさらに発展させ、スタンダードな子どものうたを中心に弾き歌いを学ぶ。中・上級者は保育者に必要なより高度な技術を身に付ける。									
単位認定の方法		期末試験	50%	授業内小テスト	%	授業内活動	40%	計		100%	
		期末レポート	%	授業内提出物	10%	その他	%				
フィードバックの方法		毎時間のレッスンにおいて、各自の課題を指摘・指導する。また、練習した曲や内容を記入した「レッスン記録表」を提出してもらい、確認・返却する。									
教科書・教材		「歌唱教材伴奏法」教育芸術社 「幼児のための音楽教育」教育芸術社									
参考書・参考文献等		適宜、楽譜を配付する									
履修上の注意等		授業初回に配布する「レッスン記録表」に練習した曲、及び学びや気付きについて記録し、必ず担当教員の印を受ける。また各自ファイルを用意し、配付楽譜などを保管する。									
回	授 業 計 画					授業時間外学習					
						授業前・時間			授業後・時間		
1	授業ガイダンス ピアノ基礎(1)(2)の復習					音楽(1)で学んだピアノ技術や歌唱教材を振り返る・30分			音楽(1)で学んだピアノ技術や歌唱教材を復習練習する・30分		
2	【初級】「めだかの学校(教科書p.34/配布楽譜)」 【中・上級】テキスト86番(p.88)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分		
3	【初級】「おかつむり(教科書p.38)」 「さよならのうた(教科書p.40-41)」 【中・上級】テキスト87番(p.89)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分		
4	【初級】「はをみがきましょう(教科書p.46)」 「あくしゅでこんにちは(教科書p.47)」 【中・上級】テキスト88番(p.90)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分		
5	【初級】「おべんとう(教科書p.48)」 「かたつむり(教科書p.51)」 【中・上級】テキスト89番(p.90-91)					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分		

6	【初級】「とけいのうた（教科書p.54）」 「山の音楽家（教科書p.55）」 【中・上級】テキスト90番（p.92）	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
7	【初級】「あめふりくまのこ（教科書p.56）」 【中・上級】任意の弾き歌い曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
8	【初級】「たなばたさま（教科書p.59）」 「おつかいありさん（教科書p.61）」 【中・上級】任意のピアノ曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
9	【初級】「シャボン玉（教科書p.62）」 「こぶたぬきつねこ（教科書p.67）」 【中・上級】任意の弾き歌い曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
10	【初級】「アイアイ（教科書p.69）」 「かえるのがっしょう（教科書p.70）」 【中・上級】任意のピアノ曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
11	【初級】「手をたたきましょう（教科書p.71）」 「とんぼのめがね（教科書p.75/配布楽譜）」 【中・上級】任意の弾き歌い曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
12	【初級】「とんでったバナナ（教科書p.77）」 「ピクニック（教科書p.78）」 【中・上級】任意のピアノ曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
13	【初級】「Happy Birthday To You（教科書p.79/配布楽譜）」 「タやけこやけ（教科書p.84）」 【中・上級】任意の弾き歌い曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
14	【初級】「バスごっこ（教科書p.85）」 「やきいもグーチーパー（教科書p.86）」 【中・上級】任意のピアノ曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
15	実技試験に向けての練習と総まとめ	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に、実技試験に向けて復習練習する・30分

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K23032		ピアノ表現(2)				1	15	演習	30	後期	2年	金山茉莉花・工藤里砂子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								
	○	※		※									
身につけるべき力												該当項目に○	
ディプロマポリシー (学習成果)	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○	
	②子どもの心身の特性を知っている												
	③子どもにとって望ましい環境を理解している												
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											○	
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる												
授業概要		個人の習熟度や経験により、それぞれ課題を設定する。毎回課題として出された曲を次の授業までに譜読みし、練習することで、ピアノ伴奏及び弾き歌いの技術を学ぶ。											
授業の到達目標		幼児教育・保育現場における音楽活動は、子どもの感性や表現力を豊かにするために不可欠である。その音楽活動の要である弾き歌いの技術を身に付ける。ピアノ基礎(1)(2)で習得したピアノ演奏の基礎知識や技術をさらに発展させ、スタンダードな子どものうたを中心に弾き歌いを学ぶ。中・上級者は保育者に必要なより高度な技術を身に付ける。											
単位認定の方法		期末試験	50%	授業内小テスト	%	授業内活動	40%	計	100%				
		期末レポート	%	授業内提出物	10%	その他	%						
フィードバックの方法		毎時間のレッスンにおいて、各自の課題を指摘・指導する。また練習した曲や内容を記入した「レッスン記録表」を提出してもらい、確認・返却する。											
教科書・教材		「歌唱教材伴奏法」教育芸術社 「幼児のための音楽教育」教育芸術社											
参考書・参考文献等		適宜、楽譜を配付する											
履修上の注意等		授業初回に配布する「レッスン記録表」に練習した曲、及び学びや気づきについて記録し、必ず担当教員の印を受ける。また各自ファイルを用意し、配付楽譜などを保管する。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	【初級】「おもちゃのチャチャチャ(教科書p.87)」 「きのこ(教科書p.88-89)」 【中・上級】任意のピアノ曲					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分				
2	【初級】「どんぐりころころ(教科書p.91/配布楽譜)」 「おなかのへるうた(教科書p.93)」 【中・上級】任意の弾き歌い曲					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分				
3	【初級】「おおきなたいこ(教科書p.95)」 「たきび(教科書p.96-97/配布楽譜)」 【中・上級】任意のピアノ曲					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分				
4	【初級】「つき(配布楽譜)」 「うさぎ(配布楽譜)」 【中・上級】任意の弾き歌い曲					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分				
5	【初級】「ジングルベル(教科書p.99)」 「森のくまさん(教科書p.100)」 【中・上級】任意のピアノ曲					レッスンを受ける曲を事前練習する・30分			レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分				

6	【初級】「雪(教科書p.101)」 「幸せなら手をたたこう(教科書p.102)」 【中・上級】任意の弾き歌い曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
7	【初級】「おんまはみんな(教科書p.103)」 「あわてん坊のサンタクロース(教科書p.104-105/配布楽譜)」 【中・上級】任意のピアノ曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
8	【初級】「お正月(教科書p.107)」 「やぎさんゆうびん(教科書p.109)」 【中・上級】任意の弾き歌い曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
9	【初級】「大きな古時計(教科書p.111)」 「たこの歌(配布楽譜)」 【中・上級】任意のピアノ曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
10	【初級】「豆まき(教科書p.115)」 「すうじのうた(教科書p.116)」 【中・上級】任意の弾き歌い曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
11	【初級】「ロンドン橋(教科書p.117)」 「ふしぎなポケット(教科書p.118/配布楽譜)」 【中・上級】任意のピアノ曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
12	【初級】「うれしいひな祭り(教科書p.123)」 「思い出のアルバム(教科書p.124-125/配布楽譜)」 【中・上級】任意の弾き歌い曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
13	【初級】「一年生になったら(教科書p.126-127/配布楽譜)」 「君が代(教科書p.131)」 【中・上級】任意のピアノ曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
14	【初級】「にじ(教科書p.150-151/配布楽譜)」 【中・上級】任意の弾き歌い曲	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に復習練習する・30分
15	実技試験に向けての練習と総まとめ	レッスンを受ける曲を事前練習する・30分	レッスンで注意を受けた箇所を中心に、実技試験に向けて復習練習する・30分

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員
K23032		図画工作表現(1)				1	15	演習	30	前期	2年	蝦名敦子
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入							
	○	※		※								
身につけるべき力												該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
		②子どもの心身の特性を知っている										○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		図画工作基礎の授業内容を基に、さらに様々な材料（自然物/人工物）を活用して製作し、紙芝居を作成する。										
授業の到達目標		様々な材料（自然物や人工物）・用具を使って製作することができる力を身につけるとともに、物語を自由に選んで紙芝居を作成することができる。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計	100	%	
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%				
フィードバックの方法		授業で作った成果物は鑑賞する時間を設ける。提出物は展示をし、鑑賞時に解説する。										
教科書・教材		幼稚園要領解説（フレーベル館）、保育所保育指針解説（フレーベル館）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼児造形の基礎（萌文書林）										
参考書・参考文献等		必要に応じて適宜紹介する。										
履修上の注意等		提出物は期日を守って、必ず提出すること。										
回	授 業 計 画						授業時間外学習					
							授業前・時間			授業後・時間		
1	オリエンテーション：授業の内容、進め方について。参考作品の鑑賞						参考作品の鑑賞。10分。			講義内容を整理する。30分。		
2	写生① 鉛筆						写生のモチーフの準備。30分。			作品の振り返り。30分。		
3	写生② 着彩						絵具の準備。10分。			写生の完成。30分。		
4	様々な材料に親しむ①（自然物）石ころ、小枝など						自然物の材料について準備。30分。			自然物を使った題材の考案。30分。		
5	様々な材料に親しむ②（人工物）ペットボトル、バック類他						人工物の材料について準備。30分。			人工物を使った題材の考案。30分。		

6	様々な材料を使った表現①（自然物、あるいは人工物を使った製作）接着剤について	材料の準備。10分。	材料・後片付け。10分
7	様々な材料を使った表現②（自然物、あるいは人工物を使った製作）	材料の準備。30分。	材料・後片付け。10分
8	様々な材料を使った表現③（自然物、あるいは人工物を使った製作）、鑑賞	作品の完成度を高める。30分。	学習内容の整理。30分。
9	紙芝居について① 参考作品の紹介、物語（絵本）の選択	紙芝居に関する題材の準備。30分。	題材を決定する。30分。
10	紙芝居の製作② 紙芝居の場面設定と全体の構成について	物語の準備。30分。	製作の途中経過の振り返り。30分
11	紙芝居の製作③ 紙芝居の絵の作成と物語の検討	製作の準備。10分。	製作の途中経過の振り返り。30分
12	紙芝居の製作④ 紙芝居の絵の作成と物語の検討	製作の準備。10分。	製作の途中経過の振り返り。30分
13	紙芝居の製作⑤ 紙芝居の絵の作成と物語の検討	製作の準備。10分。	文章の準備。30分以上。
14	紙芝居の製作⑦ 紙芝居に物語の文章を添える。	製作の準備。10分。	紙芝居を完成させる。30分以上。
15	紙芝居の鑑賞会	完成した紙芝居の準備。10分	学習内容の整理。30分。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K23032		図画工作表現(2)		1	15	演習	30	後期	2年	蝦名敦子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
	○	※		※							
身につけるべき力											該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									○
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									○
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									
授業概要		実習で求められる課題についてみんなで取組み、飛び出すカードや廃材を使ったオモチャづくり、グループ活動としてパネルシアターを製作する。									
授業の到達目標		幼児の造形表現に関する理解を深め、造形活動に適した環境づくりや鑑賞活動を計画することができる。									
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計 100 %		
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%			
フィードバックの方法		授業で製作した成果物は鑑賞の機会を設け、併せて解説する。									
教科書・教材		幼稚園要領解説（フレーベル館）、保育所保育指針解説（フレーベル館）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館）、幼児造形の基礎（萌文書林）									
参考書・参考文献等		必要に応じて授業時間に適宜、紹介する。									
履修上の注意等		提出物は期日を守って、必ず提出すること。製作する課題は、変更することがあります。									
回	授 業 計 画					授業時間外学習					
						授業前・時間			授業後・時間		
1	オリエンテーション：これまでの課題の振り返りと本授業内容と授業の進め方について					展示作品の鑑賞。10分。			学習内容の整理。30分。		
2	お誕生日の飛び出すカード① 参考作品、仕組みの理解					参考作品の鑑賞。10分。			学習内容の整理。30分。		
3	お誕生日の飛び出すカード② 文字や絵の構成、製作					材料・用具の準備。10分。			途中経過を振り返る。30分。		
4	お誕生日の飛び出すカード③ 着彩他					材料・用具の準備。10分。			着彩の完成。30分。		
5	お誕生日の飛び出すカード④ 鑑賞会					作品の準備。10分。			学習内容の整理。30分。		

6	廃材を使った動くオモチャづくり① 参考作品の紹介	廃材の準備。10分。	参考例の収集。30分以上。
7	廃材を使った動くオモチャづくり② 発想・構想	材料・用具の準備。10分。	アイデアの収集。30分。
8	廃材を使った動くオモチャづくり③ 技能	材料・用具の準備。10分。	途中経過の振り返り。30分。
9	廃材を使った動くオモチャづくり④ 鑑賞	作品の準備。10分。	学習内容の整理。30分。
10	パネルシアター①（グループ製作） 参考作品の紹介	パネルシアターに関する資料収集。30分。	学習内容の整理。30分。
11	パネルシアター② テーマの選択と役割・担当を分担し、製作の進め方について計画する。	パネルシアターの製作方法に関する資料収集。30分。	学習内容の整理。30分。
12	パネルシアター③ 製作を進める。	材料・用具の準備。10分。	材料・用具の片付け。10分。
13	パネルシアター④ 完成をめざす。	材料・用具の準備。10分。	材料・用具の片付け。10分。
14	パネルシアター⑤ 発表会。	発表会の準備。10分。	学習内容の整理。30分。
15	図画工作の内容と幼児の表現について総括する。	作った作品の振り返り。10分。	講義内容の整理。30分。

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22051		在宅保育				2	15	講義	30	後期	2年	江莉川淳子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								
	○			○									
身につけるべき力												該当項目に○	
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											
		②子どもの心身の特性を知っている										○	
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										○	
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○	
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											
授業概要		履修済みである「乳児保育」「子どもの保健」等を復習しながら、家庭訪問保育の意義や内容を理解し、在宅保育に特化した専門性を学ぶ。											
授業の到達目標		わが国における乳幼児保育の変遷と家庭訪問保育の意義を理解し、家庭訪問保育者の果たす社会的役割を自覚する。また、家庭訪問保育としての保育全体の構造を学び、バランスのとれた保育内容が子どもの健やかな成長に繋がることを理解し、子どものためのよりよい指導方法を考える。											
単位認定の方法		期末試験	50%	授業内小テスト	40%	授業内活動	0%	計 100%					
		期末レポート	0%	授業内提出物	10%	その他	0%						
フィードバックの方法		小テストや課題は、評価等を書いて翌週の返却時に解説する。											
教科書・教材		「家庭訪問保育の理論と実際 第3版」公益社団法人全国保育サービス協会監修 中央法規											
参考書・参考文献等		「ベビーシッター資格認定試験過去問題集第18回～20回」公益社団法人全国保育サービス協会「家庭訪問保育者必携ハンドブック」公益社団法人 全国保育サービス協会編集											
履修上の注意等		認定ベビーシッター資格取得のための科目であることを意識して受講すること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	・オリエンテーション ・家庭訪問保育とは P2～6 保育マインド P7～16 ・小テスト					・教科書を通読する。 ・30分以上。			・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。				
2	・一般型家庭訪問保育の業務の流れP220～228 ・居宅訪問型保育の概要 P18～27 ・DVD「家庭訪問保育の実際」を視聴 小テスト					・教科書を通読する。 ・30分以上。			・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。				
3	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識① ・乳幼児の生活と遊び P28～37 ・DVD「在宅保育に役立つ遊び“乳児編”」を視聴 小テスト					・教科書を通読する。 ・30分以上。			・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。				
4	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識② ・乳幼児の発達と心理 P38～53 ・DVD「ベビーシッター保育技術マニュアル“乳児の発達”」を視聴 小テスト					・教科書を通読する。 ・30分以上。			・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。				
5	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識③ ・乳幼児の食事と栄養 P54～65 ・DVD「ベビーシッター保育技術マニュアル“乳幼児の食事”」を視聴 小テスト					・教科書を通読する。 ・30分以上。			・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。				

6	家庭訪問保育を行うために必要な基礎的知識④ ・小児保健Ⅰ・Ⅱ P66～93 ・DVD「乳幼児を事故から守るため～“事故などの対処法”」を視聴 小テスト	・教科書を通読する。 ・30分以上。	・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。
7	居宅型訪問保育の実際① ・居宅訪問保育の保育内容 P94～106 ・DVD「家庭訪問保育ベビーシッター」を視聴 小テスト	・教科書を通読する。 ・30分以上。	・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。
8	居宅型訪問保育の実際② ・居宅訪問型保育の環境整備 P107～115 ・DVD「子どもを育む保育の環境」を視聴 小テスト	・教科書を通読する。 ・30分以上。	・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。
9	居宅型訪問保育の実際③ ・居宅訪問型保育の運営と安全確保とリスクマネジメント P116～133 ・DVD「子どもの事故と予防のチェックポイント」を視聴 小テスト	・教科書を通読する。 ・30分以上。	・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。
10	居宅型訪問保育の実際④ ・居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項 P134～144 ・職業倫理についてのカンファレンス 小テスト	・教科書を通読する。 ・30分以上。	・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。
11	居宅型訪問保育の実際⑤ ・居宅訪問型保育における保護者対応 P145～157 ・グループワーク 小テスト ・ベビーシッター資格について	・教科書を通読する。 ・30分以上。	・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。
12	居宅型訪問保育の実際⑥ ・子ども虐待 158～169 ・特別に配慮を要する子どもへの対応 P170～184 小テスト	・教科書を通読する。 ・30分以上。	・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。
13	実践演習① ・保育技術（お世話編） P185～206 ・DVD「産後ケア、沐浴、ミルク」 ・DVD「ベビーシッター保育技術マニュアル乳児の排泄、睡眠」を視聴 小テスト	・教科書を通読する。 ・30分以上。	・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。
14	実践演習② ・保育技術（遊び編） P207～217 ・DVD「在宅保育に役立つ遊び“幼児編、児童編”」を視聴 小テスト	・教科書を通読する。 ・30分以上。	・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。
15	・さまざまな家庭訪問保育 P229～242 ・DVD「産後ケア 家事支援」を視聴 小テスト	・教科書を通読する。 ・30分以上。	・授業や小テストの振り返り。 ・30分以上。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22052		子どもの文化と遊び		2	15	演習	30	後期	2年	佐々木(美)、今江莉川、金山	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
	○		(○)								
身につけるべき力											該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
	②子どもの心身の特性を知っている										
	③子どもにとって望ましい環境を理解している										
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										
授業概要		児童文化や児童文化財についての知識を深め、地域に伝わる遊びや保育における年中行事の遊びを調査する。その中から子どもに伝承したい遊びを厳選したうえで、子どもの年齢に適した遊びの内容や遊び方など保育の展開方法を学ぶ。									
授業の到達目標		地域に伝わる遊びや保育における年中行事での遊びを理解し、遊びの楽しさを子どもに伝える方法を身につける。									
単位認定の方法		期末試験	0%	授業内小テスト	%	授業内活動	50%	計		100%	
		期末レポート	0%	授業内提出物	50%	その他	%				
フィードバックの方法		グループワーク・プレゼンテーションは、発表時解説する。提出課題は評価等を書いて次の時間に返却する。									
教科書・教材		なし 必要に応じて資料を配付する									
参考書・参考文献等		「よくわかる！保育士エクササイズ11 子どもの文化 演習ブック」ミネルヴァ書房、松本峰雄監修 遠藤純、大野雄子、岡崎裕美、尾山祥子、才郷真弓、鈴木範之、高橋小百合、高橋司、田中幸、福澤惇也、藤田佳子、松本峰雄著									
履修上の注意等		日頃から、子どもの遊びに関心をもつこと。									
回	授 業 計 画					授業時間外学習					
						授業前・時間			授業後・時間		
1	児童文化・児童文化財について理解を深める 「子どもの文化とは何か」 (担当：金山)					児童文化・子ども文化について調べる 30分以上			児童文化・子ども文化を理解する 30分以上		
2	児童文化・児童文化財について理解を深める 「子どもの遊び」 (担当：金山)					子どもの遊びについて調べる わらべうた遊びについて調べる 30分以上			授業内容を振り返り、まとめる 30分以上		
3	児童文化・児童文化財について理解を深める 「子どもの発達と児童文化財の選び方」 (担当：金山)					子どもの発達の特徴を調べる 30分以上			授業内容を振り返り、まとめる 30分以上		
4	実際の保育現場での年中行事を知る (担当：佐々木美)					年中行事について、また関連した歌・お話等を調べる 30分以上			グループ(個人)で打ち合わせをする 30分以上		
5	実際の保育現場を想定しながら、活動内容や展開方法を考える① (担当：佐々木美)					使用する材料や道具を検討する 30分以上			グループ(個人)で打ち合わせをする 30分以上		

6	実際の保育現場を想定しながら、活動内容や展開方法を考える② (担当：佐々木美)	使用する材料や道具を検討する 30分以上	グループ（個人）で打ち合わせをする 30分以上
7	発表し、これまでの活動について振り返る (担当：佐々木美)	丁寧な言葉がけや進め方を考える 30分以上	内容を振り返り、まとめる 30分以上
8	伝承遊びや地域に伝わる遊びについて理解を深める (担当：今)	伝承遊び（鬼遊び・毬つき・けん玉・コマ回し・長縄・竹馬等）やそれぞれの地域に伝わる遊びについて遊び方を調べる。	伝承遊びや地域に伝わる遊びについてまとめる。
9	子どもに伝えたい遊びをとりあげ、クリスマスの製作遊びの内容や遊び方を考える (担当：江莉川)	クリスマスの遊びを考え、子どもに伝えたいことを調べる 30分以上	グループごとに打ち合わせをする 30分以上
10	クリスマス遊びの計画を話し合い、必要な材料や道具を考え準備をする① (担当：江莉川)	使用する材料や道具を検討する 30分以上	グループごとに準備をする 30分以上
11	クリスマス遊びの計画を話し合い、必要な材料や道具を考え準備をする② (担当：江莉川)	使用する材料や道具を検討し用意する 30分以上	グループごとに準備をする 30分以上
12	子どもへの指導方法や言葉がけなどを考え、クリスマスの製作遊びを実施する (担当：江莉川)	丁寧な言葉がけや関わり方を考える 30分以上	内容を振り返り、まとめる 30分以上
13	昔ながらの伝承遊びや伝承遊びから派生した身体活動をともなう遊びについて理解を深める (担当：今)	伝承遊びから派生した身体活動をもなう遊びについて調べる 30分以上	授業内容を振り返り、まとめる 30分以上
14	演習で理解を深めた遊びについて、実際の保育場面を想定しながら、活動内容や展開方法を考える (担当：今)	使用する材料や道具を検討し、用意する。 30分以上	グループごとに準備をする。 30分以上
15	伝承遊び等の遊びプログラムを発表し、これまでの活動について振り返る (担当：今)	丁寧な言葉がけや進め方を考える 30分以上	内容を振り返り、まとめる 30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K22052		子どものための総合演習		2	15	講義	30	前期	2年	江莉川淳子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入						実務経験
	○		(○)								
身につけるべき力											該当項目に○
ディプロマポリシー (学習成果)		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									○
		②子どもの心身の特性を知っている									
		③子どもにとって望ましい環境を理解している									
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									○
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									○
授業概要		現代の保育を巡る問題を考えながら、「子どもに伝えたい大切なこと」をテーマに具体的な内容をグループでの討議により決定する。目標達成に向けて、発表までの計画・脚本・衣装・舞台・作曲等のすべてを考えて進める。その中で「仲間と心を合わせて目標に向かう力」「コミュニケーション能力」「表現力」「話す力」を身につけながら、子どもが楽しめる演目を演じ発表する。									
授業の到達目標		<ol style="list-style-type: none"> 1 保育に関する科目横断的な学習能力や保育技術を習得する。 2 課題について協働しながら現状分析、考察、検討をする力を養う。 3 問題解決の対応、判断について学びを深める。 									
単位認定の方法		期末試験	0%	授業内小テスト	0%	授業内活動	30%	計 100%			
		期末レポート	40%	授業内提出物	30%	その他	0%				
フィードバックの方法		課題動画や学外演習は評価等を書いて、返却時に解説する									
教科書・教材		特になし。必要な場面で資料配布をする。									
参考書・参考文献等		「こどものミュージカル」城野賢一・清子＝監修・振付 ドレミ楽譜出版社 「発表会のための年齢別劇・オペレッタ&合奏」 チャイルド本社									
履修上の注意等		<ul style="list-style-type: none"> ・保育職をイメージしながらグループワークを進め、協働して行うこと ・ノート（A4サイズ）を準備し、講義後は毎回授業を振り返りノートにまとめること 									
回	授 業 計 画					授業時間外学習					
						授業前・時間			授業後・時間		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・保育者の役割や保育技術について ・演目について討議（内容・役割などを計画）する 					<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの演劇を調べる。 ・30分以上。 			<ul style="list-style-type: none"> ・活動を記録し、演目の内容について考える ・30分以上。 		
2	<ul style="list-style-type: none"> ・演目の決定から台本作りと計画書の提出（計画書をチーム内で把握） 					<ul style="list-style-type: none"> ・演目の下調べをする。 ・30分以上。 			<ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。 		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう（台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等） 					<ul style="list-style-type: none"> ・授業に必要な物の準備や調べ物をする。 ・30分以上。 			<ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。 		
4	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう（台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等） 					<ul style="list-style-type: none"> ・授業に必要な物の準備や調べ物をする。 ・30分以上。 			<ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。 		
5	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう（台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等） 					<ul style="list-style-type: none"> ・授業に必要な物の準備や調べ物をする。 ・30分以上。 			<ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。 		

6	・グループで計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう（台本・衣装・舞台背景・必要な曲作り等）	・授業に必要な物の準備や調べ物をする。 ・30分以上。	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
7	・リハーサル 改善点について話し合う	・授業に必要な物の準備や調べ物をする。 ・30分以上。	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
8	・発表に向けて改善点について確認し、準備や練習を行う	・演目練習。 ・30分以上。	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
9	・各グループの演発表	・演目練習。 ・30分以上。	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
10	・演目の計画・準備を進める	・演目の下調べや準備をする。 ・30分以上。	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
11	・計画・準備をすすめ、一人一人が役割を果たし完成に向かう	・授業に必要な物の準備や調べ物をする。 ・30分以上。	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
12	・リハーサル 改善点について確認し、準備や練習を行う	・演目練習。 ・30分以上。	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
13	・発表に向けて改善点について確認し、準備や練習を行う	・演目練習。 ・30分以上。	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
14	・演目の発表	・演目練習。 ・30分以上。	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。
15	・演目発表を振り返り、課題についてまとめディスカッションをする	・プレゼンテーションの準備をする。 ・30分以上。	・授業を振り返りノートをまとめる ・30分以上。

ナンバリング		科目名				単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員	
K23052		運動あそび(4)				1	15	演習	30	後期	2年	今 和香子	
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	保育士	幼稚園教諭	ベビーシッター	編入								
	○												
身につけるべき力												該当項目に○	
ディプロマポリシー (学習成果)	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける											○	
	②子どもの心身の特性を知っている											○	
	③子どもにとって望ましい環境を理解している											○	
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている											○	
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる											○	
授業概要		運動遊び(1)(2)(3)での講義内容を基礎として、運動遊びを展開するうえで環境構成に配慮した指導上の留意点や安全管理等についていっそう理解を深め、幼児の身体の発育・発達に即した運動遊びの内容と実践的な指導法について学習する。											
授業の到達目標		幼児の運動遊びの指導内容・指導法を理解し、実践的な指導力を身に付ける。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計 100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%					
フィードバックの方法		<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、授業内活動(動きの習得状況等)について解説する。 ・授業内提出物(模擬保育指導案等)は返却時に解説する。 ・グループワークは、発表時解説する。 											
教科書・教材		「幼児の楽しい運動学習」不味堂出版											
参考書・参考文献等		必要に応じて資料を配布する。											
履修上の注意等		テキストを参考に各種の運動遊びについて調べ、講義終了後、幼児の指導上の留意点や安全管理等についてをノートにまとめたり、実際場面を想定して指導案を作成したりする。											
回	授 業 計 画						授業時間外学習						
							授業前・時間			授業後・時間			
1	講義内容を把握し、幼児の運動遊びの内容や効果について学ぶ。						テキストを復習し、内容を概観する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
2	身体表現あそび①幼児における身体表現について学び、身体表現あそびを体験する。						「はとポッポ体操」を復習する。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
3	身体表現あそび②身体表現によるコミュニケーションについて学び、身体表現あそびを体験する。						「うれしい・悲しい・怖い」などの感情を表すジェスチャーを考えておく。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
4	身体表現あそび③発達過程からみる乳幼児の身体表現や学童期への接続について学び、身体表現あそびを体験する。						身体表現あそびの指導計画を考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			
5	身体表現あそび④動きの要素について学び、身体表現あそびを体験する。						身体表現あそびの時間配分等を考える。 ・30分			講義内容をノートにまとめる。 ・30分			

6	マットを使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。	マットを使った遊びを復習し、遊び方を考える。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
7	跳び箱を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。	跳び箱を使った遊びを復習し、遊び方を考える。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
8	鉄棒を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。	鉄棒を使った遊びを復習し、遊び方を考える。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
9	平均台を使った遊びの特徴や効果を理解し、指導法を学習する。	平均台を使った遊びを復習し、遊び方を考える。 ・30分	講義内容をノートにまとめる。 ・30分
10	運動遊びの指導法①指導計画の立案方法を復習し、指導計画を作成する。	運動遊びの活動内容を考える。 ・20分	運動遊びの指導案を作成する。 ・40分
11	運動遊びの指導法②年齢別の運動遊びについての指導案を作成し、指導法を検討する。	運動遊びの指導案を検討する。 ・40分	運動遊びの指導案を修正する。 ・20分
12	運動遊びの指導法③グループごとに活動内容を考え、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。	模擬保育の準備をする。 ・30分	実施した模擬保育について分析し、指導法についてまとめる。 ・30分
13	運動遊びの指導法④グループごとに活動内容を考え、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。	模擬保育の準備をする。 ・30分	実施した模擬保育について分析し、指導法についてまとめる。 ・30分
14	運動遊びの指導法⑤グループごとに活動内容を考え、実際の状況を想定しながら指導法について研究をする。	模擬保育の準備をする。 ・30分	実施した模擬保育について分析し、指導法についてまとめる。 ・30分
15	グループごとに模擬保育の内容を振り返り、改善点などを話し合う。	各グループの模擬保育について改善点をまとめる。 ・30分	授業内容全体を振り返り、要点をまとめる。 ・30分